

Linux を楽しむ！！

[全36頁印刷. PDF](#)[この頁印刷. PDF](#)

パソコンを買い換えたり、アプリケーションを購入すると、その価格が考えたより高価だったり、バージョンアップが早すぎて直ぐに次を購入せよとうるさく、もっと簡便に永く使える様にならないものか。パソコンは「道具だ」車は10年使える。などと考えます。その結果、リナックスというOSは無料らしい。使えないものか、と考えます。そこで小生も、昔挫折したLinuxを動かしてみようと考察です。

現在手に入るLinuxには、大別して3種類があります。

1. WindowsのOSが稼動している機器にインストールが出来るもの
2. HDDをフォーマットしてLinux専用機としてインストールするもの
3. CD-ROMから起動して、インストールしないで試行するもの

1. の場合は、起動時に目次がでてOSを選択します。欠点は、普通は元に戻せません。Windowsの動作に不都合が生じると、多くの場合、HDDのフォーマットをして、すべてを最初からインストールする必要が生じます。ファイルはすべて失われます。
2. の場合は、別のHDDを用意する必要があります。動作は、Linuxのみなので、元のHDDに戻せばWindowsには支障は生じません。こちらの方法がお勧めです。
3. の場合は、試しに動かしてみるだけです。設定を少しHDDに書き込みますが、Windowsの動作には支障がありません。

新しいアプリケーションをパソコンにインストールする時には、期待と心配が同居しています。ましてや、別のOSをパソコンに入れる場合には、その上に勇気が必要です。説明書どりにインストールしても、必ず動作するとは限りません。何度か再インストールや、また、別のLinuxをインストールすると動作することもあります。何度か試行錯誤をして使いやすいOSを入れてみましょう。画像は、なんだかんだと手に入れたLinux関連の書物。CD-ROM、DVD-ROMも付属しています。



Linuxについて

Linuxのわかりやすい簡単な解説です

Linuxの概要

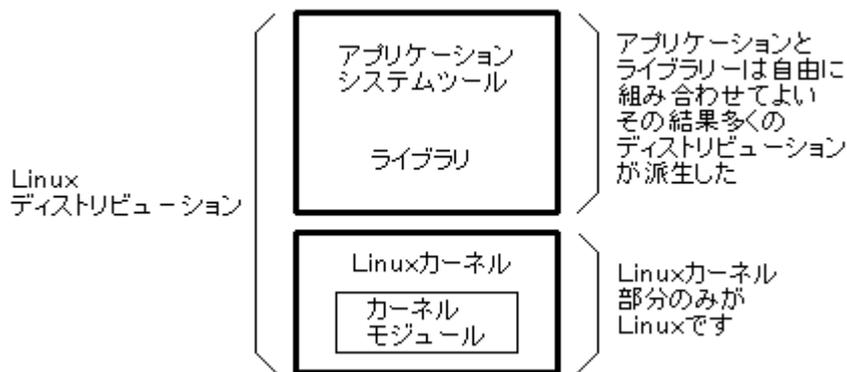
Linuxは、1991年、フィンランド、ヘルシンキ大学の学生の Linus Torvals 氏によってフリーのOSとして作られました。その後、この基本部分のカーネルに幾つかのアプリケーションが加えられ、多くのディストリビューションが開発されました。1994年に RedHat Linux が公開され、90年代後半に日本でも盛んに使われだしました。しかし、そのころは、パソコンにインストールするのが面倒で難しかった。

最近、CD-ROMから起動できるものが開発され、MS-WINDOWSのようにマウスで簡単に操作可能になりました。Linuxでは、X-WINDOWと言います。本当はこちらの方が古いのだが使いにくかった。通常は、MS-DOSのようなコマンド打ちで動いていました。

Linuxの基本カーネルはフリーソフトですが、アプリケーションは有料販売されているものもあり、選択に迷います。フリーソフトにも使い易いものが開発されてきて、現在ではほとんど無料で使えます。

Torvals 氏はその後アメリカへ渡り、パソコンのCPUに最初からLinuxを入れたいと考え、トランスメタ社に入りましたが、完成はまだのようです。トランスメタ社のintel互換のCPUは日本のメーカーでも使われパソコンに搭載され市販されました。

Linuxの種類



Linuxは上図のように、Linuxカーネルとアプリケーション部分で構成され、全体では、Linuxディストリビューションと呼ばれます。

ディストリビューション・種類

Red Hat Linux	サーバー向けの商用として多く使われている
○ Fedora Core	RedHatのパソコン版としてフリーで使われている
○ Vine Linux	FedoraCoreをベースに日本向けに開発された
○ Turbo Linux	RedHatから派生したもので、商用につかわれている
PlamoLinux	Slackwareをベースとし、日本でLinuxブームを築いた
○ KNOPPIX	独立行政法人産業技術総合研究所が主体となっている
○ Ubuntu	最近使われるようになった USBからも起動可能
○ Puppy	CD-ROMから起動可能な軽量なもの

○印は、次項の記事を参照してください。

上記のほかにも多くがあります。gOS、PuppyLinux、SLAX、DammSmallLinux、openSuse、Mandriva、Debian、Linspire(Lindows)、などなど。

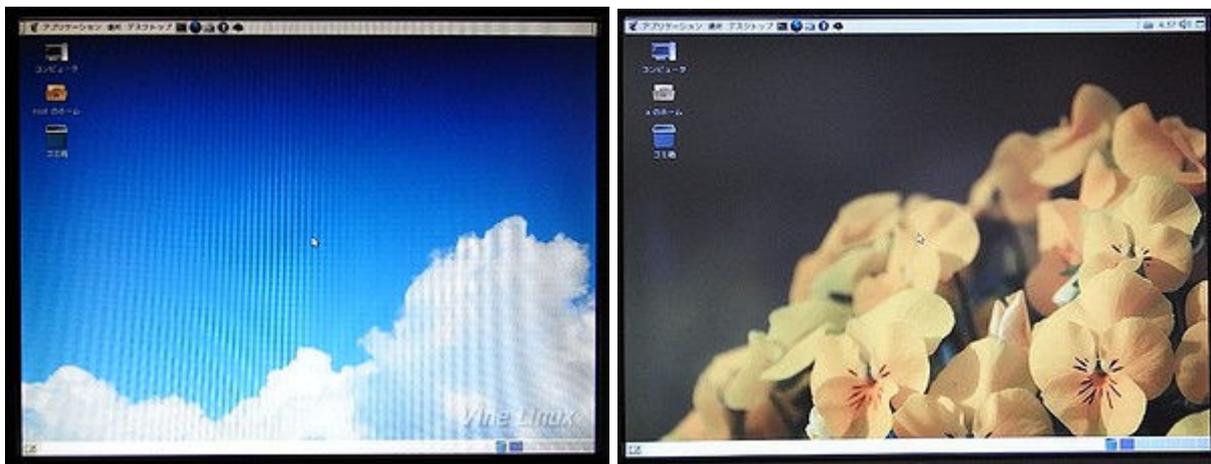
<http://machizukan.net/DK/>

Linuxを専用機にインストールして動かす

空のHDDを用意して、インストールして動作させた報告です。Linuxのみがインストールされています。ADSLでインターネットにも接続しています。1番上の画像の左上の「RedHat」で悩んだパーティションの作成も大部分自動で行われます。1度Linuxを書き込んだHDDは、MS-DOSのFdiskで開放、設定、フォーマットをしています。このときにNone-DOS領域と表示されることもあります。

Vine Linux(バイナリナックス)

[Vine Linux の詳細ページ](#)



左:Vine Linux 4.0、右:Vine Linux 4.2.

パソコンに何も入っていないHDDをつなぎ、インストール。インストールは30分ぐらいで終わります。

起動には、1分40秒を要し、毎回ユーザ名とパスワードの入力を求められます。終了には、22秒を要し、電源は自動では切れません。

使用感は、MS-Windowsとの違和感は生じません。ネットとメールなら充分使えます。

HDD使用バイト数:2.6GB(システム・モニタの表示)

<http://machizukan.net/DK/>

Turbo Linux(ターボリナックス)

[Turbo Linux の詳細ページ](#)



パソコンにはMS-Winが入っているHDDをつなぎ、DVDから起動したTurbo Linuxで全部を削除してインストールした。インストールは30分くらいだった。

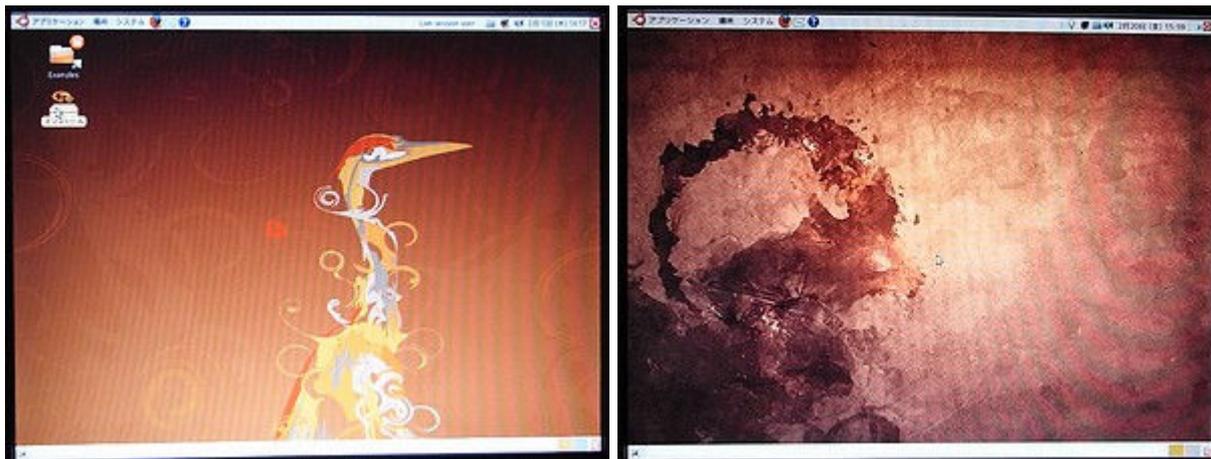
使い勝手は、上のVine Linuxとあまり変わりません。起動1分45秒、終了25秒で電源が自動で切れます。起動時に毎回、パスワードのみ入力が求められます。独自のWebブラウザを使っています。

HDD使用バイト数:3GB(ストレージデバイスの表示)

<http://machizukan.net/DK/>

Ubuntu(ウブントウ)

Ubuntu の詳細ページ



左はubuntu8. 04、右はubuntu8. 10。

8. 04は雑誌のCD-ROMからインストール、ネットに接続するとubuntu の頁につながり、次のバージョンになっていたの
で、ダウンロードしてまたインストール。これが一番使い易い、インストールも判りやすい。Windowsと両立も可だった。

<http://machizukan.net/DK/>

Fedora(フェドラ)

Fedora の詳細ページ



これは残念ながらあまりの重さにインストールを諦めました。

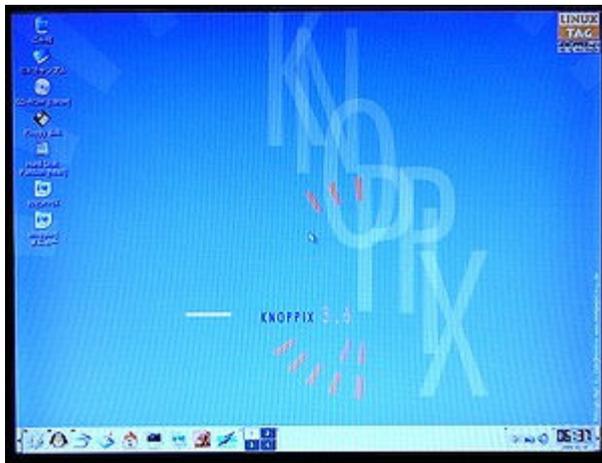
<http://machizukan.net/DK/>

LinuxをWindowsが動いている機にインストールして動かす

パソコンを起動するときに使うOSを選択する。

Knoppix(クノーピクス)

Knoppix の詳細ページ



このCR-ROMは、Windows-XPのデスクトップ画面からCD_ROMを開いてインストールします。「knoppix」というフォルダーをつくり、そこにコピーされます。パソコンの起動時に、選択画面が表示され、WindowsとLinuxのどちらかを選択して起動します。Linuxを選択すると「Knoppix」が起動しますが、2分30秒くらいを要します。終了は42秒でした。¥knoppixフォルダーのファイルを毎回解凍して動きます。フォルダーは630MBですが、動作時には1.76GBに解凍されます。ちなみに、Win-Xpは起動43秒、終了は13秒です。

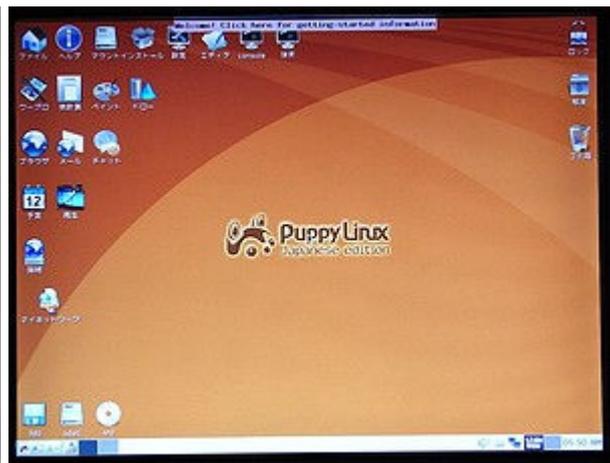
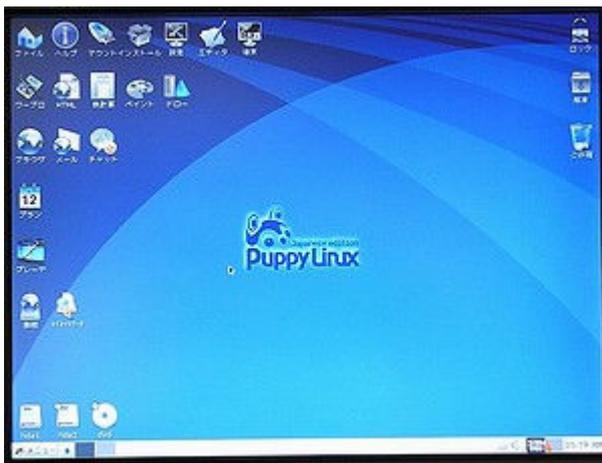
<http://machizukan.net/DK/>

LinuxをCD-ROMから起動して動かす

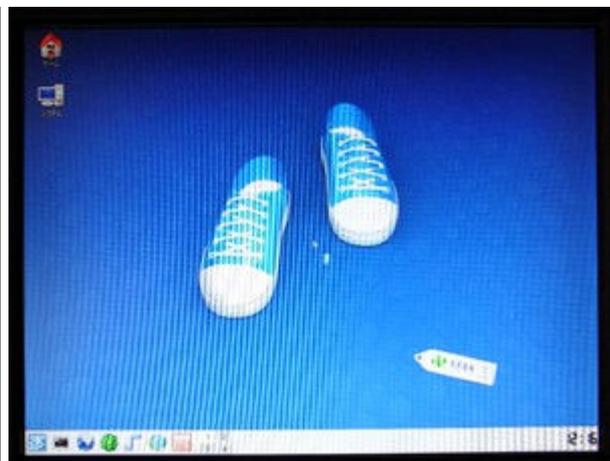
1CD LINUXといわれているもの。インストールはなし。雑誌の付録のCD-ROMを使ったり、ダウンロードして自分で作成して試行錯誤します。

puppy など 1CD Linux の紹介

puppy などの詳細ページ



PuppyのWeb頁を見ると、何種類かあります。幾つかダウンロードして動かしてみたが、インストールと言う箇所であまりかかった。



左はgOS、右はslax。

軽いというのでダウンロードして動かしてみた。軽快であるが、そのままHDDにインストールは出来なかった。

<http://machizukan.net/DK/>

1CD LINUXの作成

1cdの詳細ページ



ダウンロードファイルに欠陥があったり、書き込みに失敗すると、起動できなかったり、ファイルが不足していたり、不良が発生します。結局、27枚作成して、不良が10枚でした。

<http://machizukan.net/DK/>

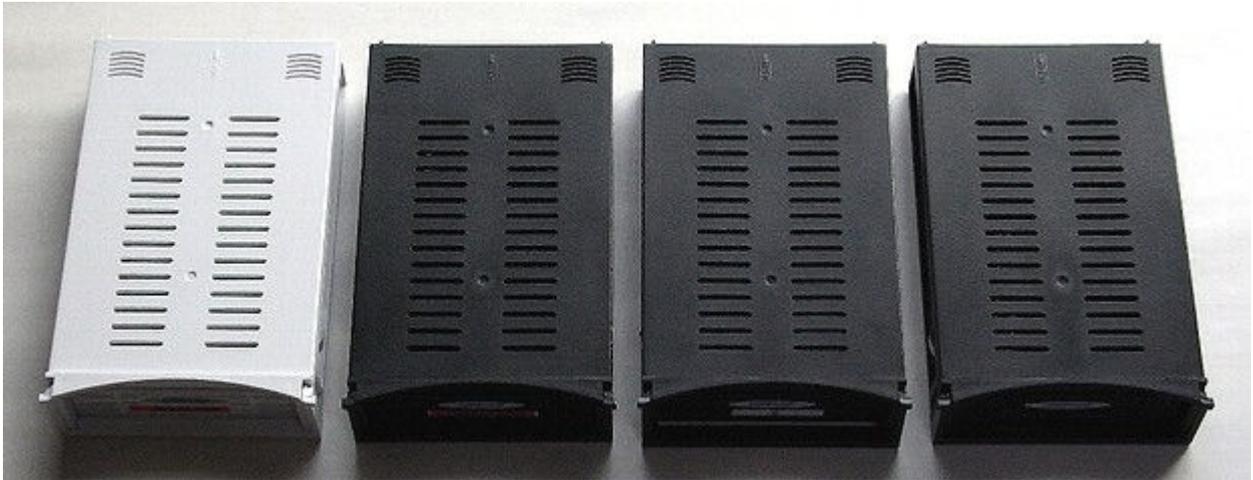
機材・実験に使ったパソコン



インストールを実験した機材は、DELL:GX240です(左の画像)。これを、リムーバルHDD化するべく別のシャーシに(右の画像)入れたものです。

インストールした機材

型番:	DELL GX240
CPU:	Pen4 1.7GB
メモリー:	256MB
HDD:	LINUXにより変更
LCD:	DELL 15インチ
Win-XP:	起動43秒、終了13秒



使用したリムーバブルHDDケース。HDDは、3.5インチ5台、2.5インチ4台。

<http://machizukan.net/DK/>

総括・問題点

パソコンに新しいOSをインストールするということは、失敗を覚悟し、何度も試行錯誤を繰り返さないと成功しません。と、言うことは、現在のOSが使えなくなったときに購入した状態に戻せなければこの実験は不可能です。つまり、現用のOSとアプリケーションの再インストールが出来ることが条件になります。

また、HDDの交換も出来ない多くの種類のOSの実験は不可能です。その結果、実験に適しているパソコンはデスクトップ型、もしくはノート型でもHDDの交換が可能な機種になります。そして、現用のHDDを外して別の物に交換して実験することをお勧めします。

以下に、問題となった箇所を列記します。同様の事をお考えの方の参考になれば幸いです。

HDDのフォーマット

DOSのFDISK用に、Win_MEの起動ディスクを作りそれでフォーマットも行った。つまりすべてFAT32フォーマットです。

HDDの領域開放

使用したHDDは10台近くになり、領域開放とフォーマットを繰り返しました。昔は、LinuxをインストールしたHDDをDOSのFDでFdiskをすることが出来なくて、LinuxのFdiskで領域を開放してDOSで再度設定しフォーマットをする必要があったが、最近のLinuxはFAT32フォーマットでもインストール可能なものがあり領域開放は随分楽になったが、うまく出来ないものもあり、USB接続用の治具を用いてWin-XP機につなぎ「コントロールパネル」「管理ツール」「コンピュータの管理」「ディスクの管理」で開き、領域を開放したのも生じた。

起動時間の不思議？

空のHDDにインストールすると、起動時間に3分を要したubuntuが、Win-XPと両立するようにインストールしたら2分を切って起動し、回転数が早いHDDに変更したら1分半を切るようになった。不思議な現象もありました。

別のパソコンにインストール

実験機では正常に動いたものが、別のノートパソコンに入れたらうまく動作せず、バージョンの古いほうが動いたものがあった。(ubuntu) また、機種が変わるとデスクトップ画面の色が変わり非常に見にくくなり使用をあきらめたものもあった。(dsl)

ディストリビューションの多さにびっくり！！

Linuxの心臓部は1種類なのに、それにアプリケーションを加えた、ディストリビューションの多さに驚き、どれを主に使おうかと悩みます。Win-XPの代替を考えたときには、多数の方が使っているものが最適で、現在はubuntuかknoppixを選択するのが良いでしょう。ubuntuは機能も丁度良いですが、knoppixは科学計算をするアプリケーションなども多く、それなりに動作も重いです。

Win-XP機にインストール

Win-XPが動作しているものに、インストールして起動時に選択可能なものもありますが、CD-Rから起動してインストールをすると全部を削除して自分だけをインストールするものもあります。このまま実行するとWin-XP関連のファイルは全部なくなります。すべてのファイルが消失しますので、十分な注意が必要です。

メモ用紙の数とインストール回数

インストールの様子をメモした用紙は30枚を越え、インストール回数は多分50回を越えています。CD-Rの不良かと書き込み機種を変えて同じものを4枚つくり、多分2度づつインストールし、パソコンにあわないらしく全部うまくいかなかったものもあります。試行錯誤と根気の連続です。完成を期待しながら楽しんで実行しましょう！！

LinuxをインストールしたHDDをWin-XPで読む

LinuxのみをインストールしたHDDのファイルシステムは ext3 となっていて、このHDDをUSB接続でWin-XP機につなげてもエクスプローラーでは認識しません。「コントロールパネル」「管理ツール」「コンピュータの管理」「ディスクの管理」でのみ認識します。

また、40ピンフラットケーブルでHDDソケットに接続しても同様、もしくはパソコンが起動しません。

外付けHDDをファイルシステムFAT32でフォーマットしたもののみが両方で認識できます。ファイルの移動にはこの方法が最適です。

<http://machizukan.net/DK/>

Vine Linux を考察

久しぶりにLinuxを楽しんでみようとなつたきっかけを作つたのがこの「Vine Linux」です。
少し前に、Linuxを動かそうと入手して、インストールしたが、インターネットに接続できなかった。そのまま進展しなかったの
だが、再考察をした結果インターネットに接続でき、普通に使えます。
このLinuxは、「Red Hat Linux」系の「Fedora Core」です。
前半:Vine Linux 4. 0、後半:Vine Linux 4. 2です。

<http://machizukan.net/DK/>

Vine Linux 4. 0

過日入手した「Vine Linux 4. 0をインストール

アプリケーション



アプリケーション(左):

Vine Linux4 入門キット(CD-ROMx2)
発行所: 秀和システム
定価: ¥2, 600+税

書籍を探した時に、DVDではなく、CD-ROMが付属している物を探した。

インストール

インストールは、CD-ROMなので安心
CD-ROM版は、機材を選びませんので、CD-ROM 1枚目のみですぐにインストールは完了です。
画面の指示に従って「次へ」をクリックすると30分くらいで終了です。HDD30GB、1ドライブです。
HDD使用バイト数:2. 6GB(システム・モニタの表示)

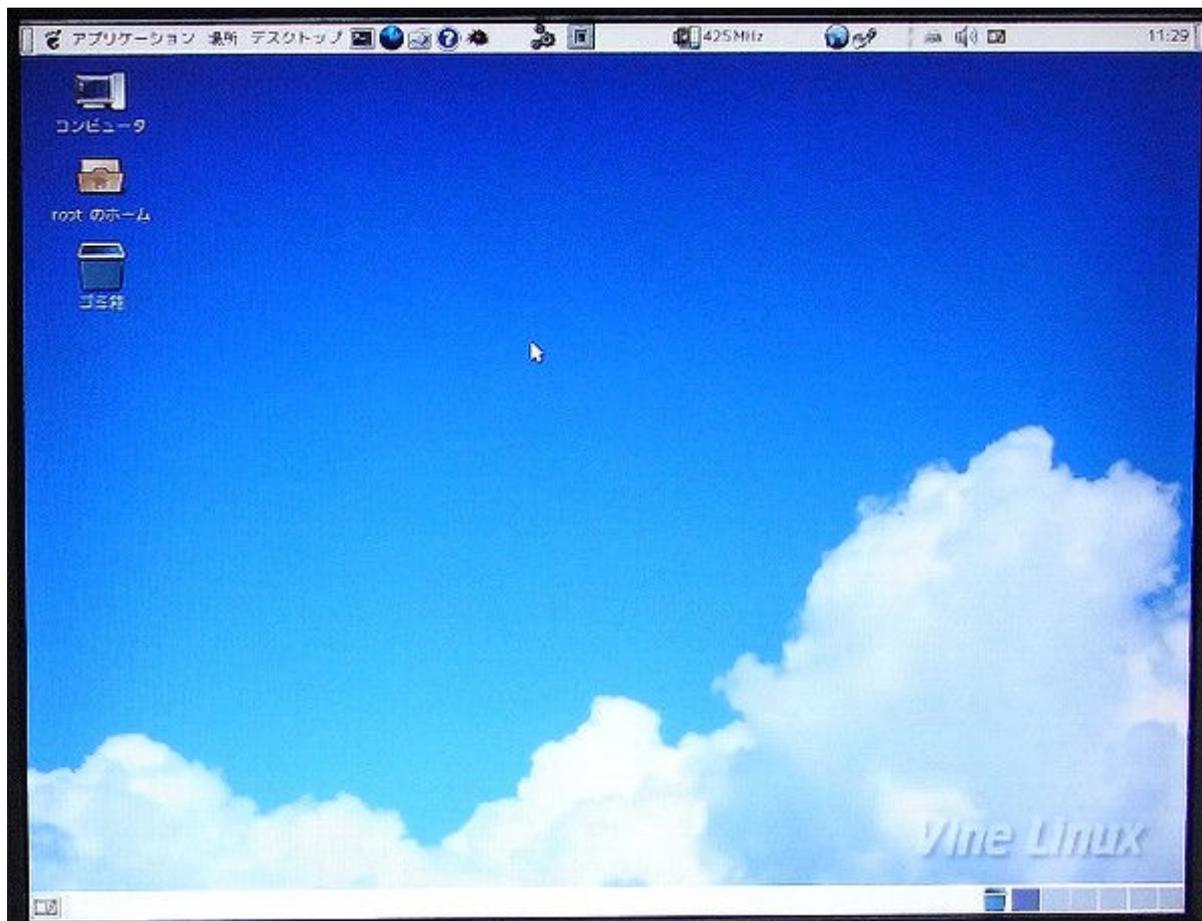
さて、起動は??

```
boot: clean, 43/25184 files, 12085/104388 blocks
mounting local filesystems: [ OK ]
enabling local filesystem quotas: [ OK ]
enabling swap space: [ OK ]
INIT: Entering runlevel: 5
Entering non-interactive startup
checking for new hardware [ OK ]
starting cupsd: [ OK ]
flushing all current rules and user defined chains: [ OK ]
clearing all current rules and user defined chains: [ OK ]
applying iptables firewall rules: [ OK ]
setting network parameters: [ OK ]
bringing up loopback interface: [ OK ]
starting system logger: [ OK ]
starting kernel logger: [ OK ]
starting irqbalance: [ OK ]
starting portmapper: [ OK ]
starting nfs statd: [ OK ]
initializing random number generator: [ OK ]
mounting other filesystems: [ OK ]
starting autofs: [ OK ]
starting acpi daemon: [ PASSED ]
starting cups: _
```



起動すると、見慣れた機材のチェック画面が出てきます。ここで少々時間を食うのが不満ですが、やむを得ません。少し待

ちます。ユーザ名rootとパスワードをいれ画面が出ます。入力は起動ごとに毎回求められます。



デスクトップ画面になりました。メインメニューバーは、上部にあります。こまで、1分40秒を要します。

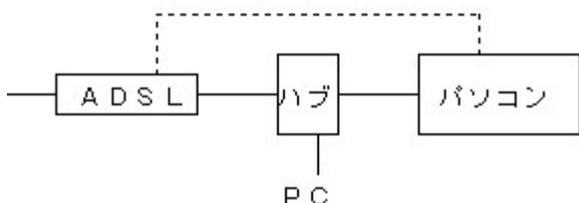
<http://machizukan.net/DK/>

ネットに接続を設定する



左の画像は、接続ソフトを設定し、接続ができた時のものです。

ネットに接続までの、試行錯誤



Linuxをインストールしたパソコンとインターネット網とは左図の実線で接続されています。

Win_XPでは、通常はハブの設定は行わずに動作しています。この機でもHDDをWin_XPのに差し替えるとネットにつながります。

しかし、いくら設定を変更してもつながりません。ネットカードを認識していませんなどと表示もでます。けれども壊れている事は考えられません。ハブの設定が別に必要なのかと、説明

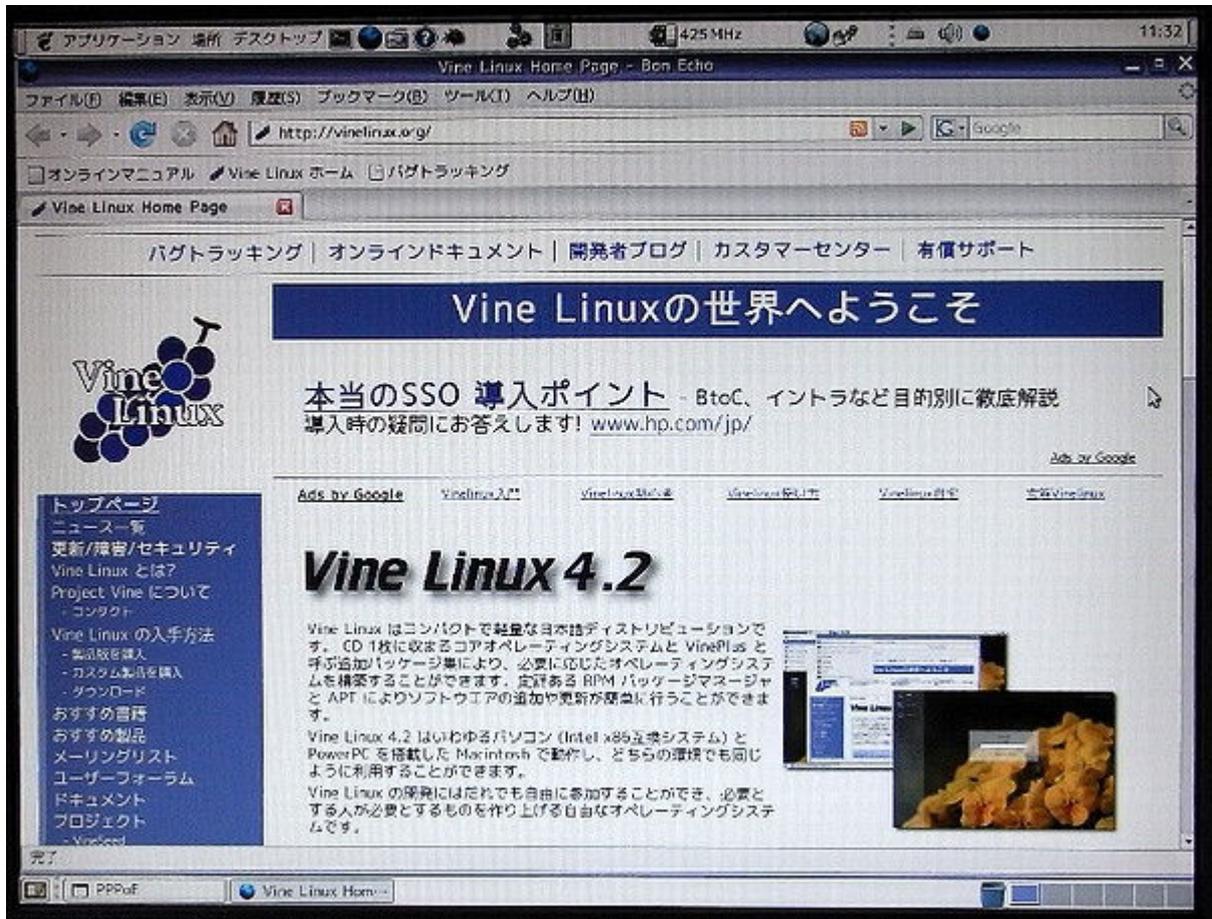
書を読むもないようです。そこで、図の点線のように配線を変更、接続を試みます。ストレートケーブルとクロスケーブルでどちらを使うのだけ、などと考えながら、パソコンからのケーブルをADSL端末につなぎます。ははは、うまく接続しました。

そこで次は、電源を切って、ADSL端末とハブの電源を先にいれてから、パソコンの電源を入れます。これを何回か繰り返すと、ハブを通してネットにつながるようにになりました。めでたし、めでたしです。

また、問題が発生です。このインターネット接続用の「RP-PPPoE」の画面のショートカットがないのです。また、メインメニューのどこにも追加されてないのです。使うたびに、コマンドを打ち込む画面を出してから、コマンドを入れ、次の画面で出る「RP-PPPoE」でスタートをクリックしないとインターネットに接続できません。少し面倒です。もう少し勉強しないと、どうすべきか方法が不明です。

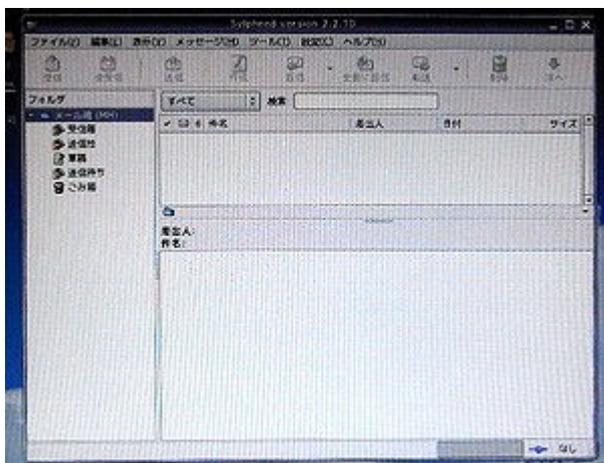
その後、これのショートカットICONをつくり、再起動後も簡単にネットにつながるようになりました。

ブラウザは



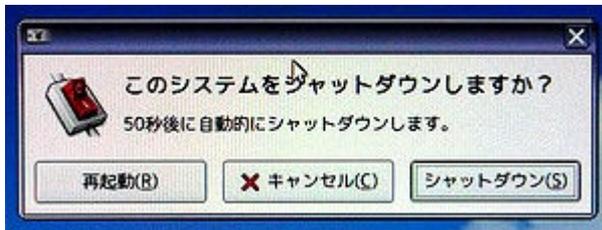
「Firefox」を起動すると、自動的にVine Linuxの頁に接続されます。
現在、Vine Linuxは、4. 2です。

メールソフトは



メールソフトは、「SYLPHEAD」が付属します。

パソコンの停止は、



停止は、前述のインターネットへの接続を「ストップ」し、メインメニューバーの「デスクトップ」、「シャットダウン」をクリックすると、左の画像が表示され「シャットダウン」を再度クリックします。



すると左の画面になり最後に、「System halted」と表示されたら、電源ボタンを切ります。

残念ながら電源は自動では切れませんでした。

ここまで、22秒を要します。

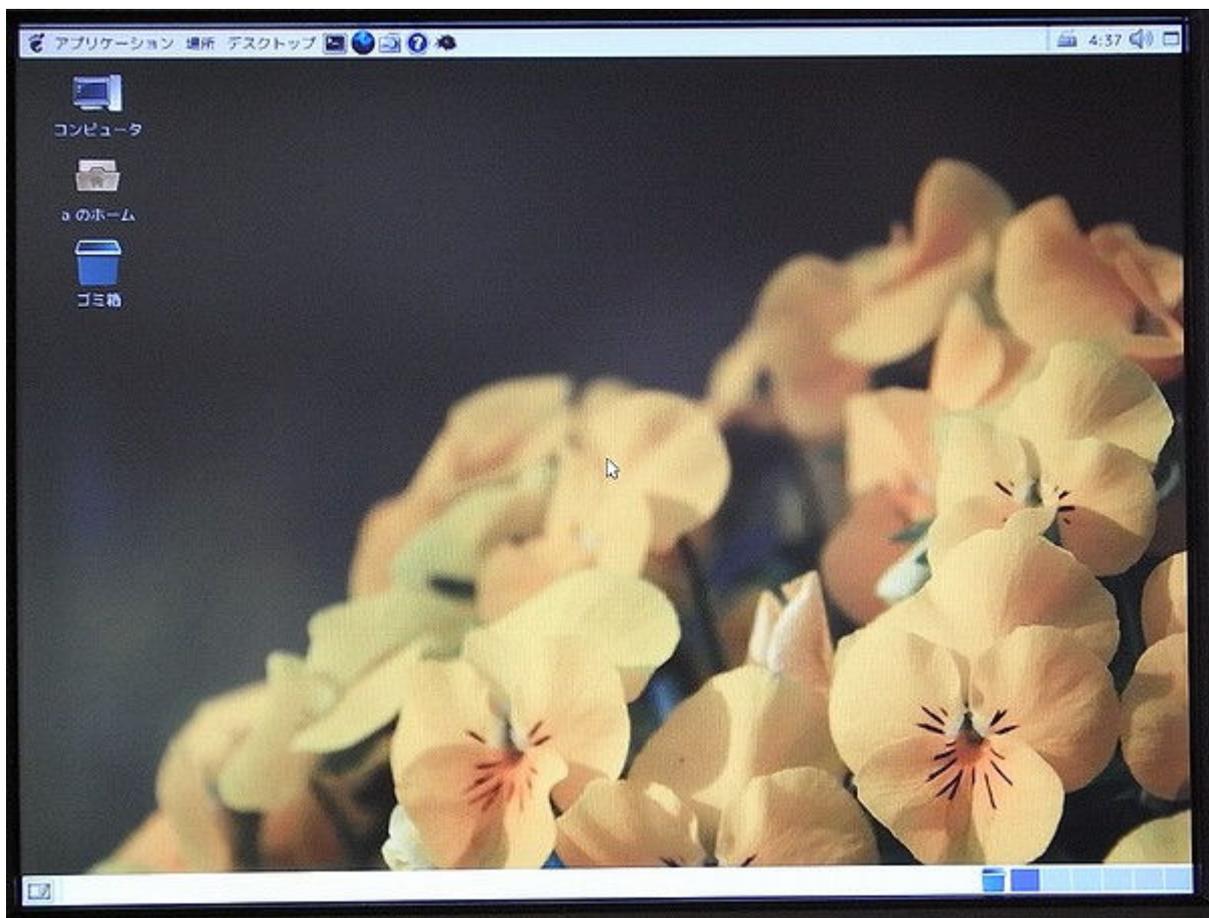
<http://machizukan.net/DK/>

Vine Linux 4. 2

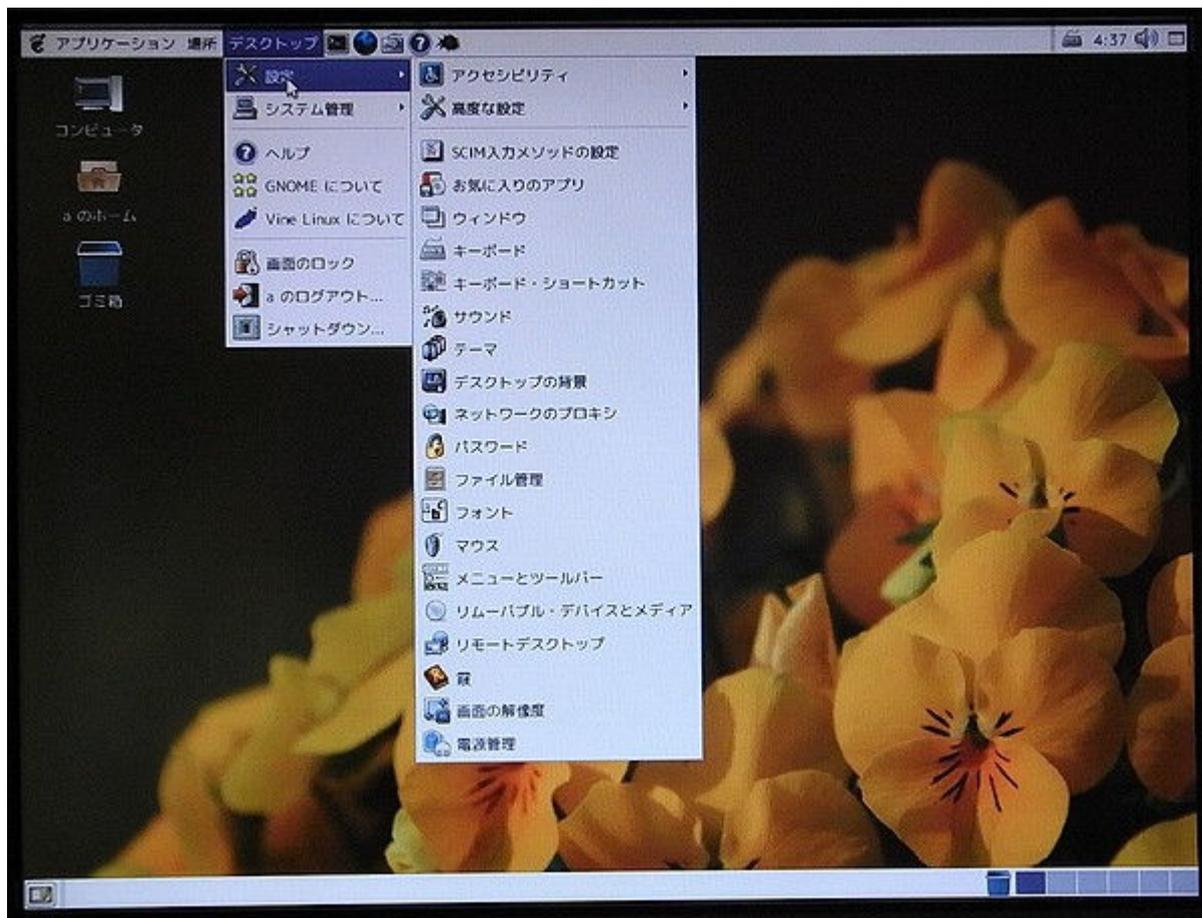
Web 頁に接続したらバージョンは 4. 2 だったので、ファイルをダウンロード。CD-ROM にいれ、インストールします。

インストール

今度は別の HDD にインストール。なんと 2. 5 インチ。



違うアプリケーションのような画面です。



デスクトップアイコンをクリックするとメニュー項目が少し増えたような…。HDD占有1.8GB。

状態

起動: 2分30秒、停止: 31秒。

CD-ROM、外付けUSB-HDD、共に自動では読み込まず。起動、終了音せず。さて、どうすべきか??

<http://machizukan.net/DK/>

Turbo Linux を考察

このLinuxは、正統派とも言うべきもので、市販品は、アフターサービスも完全です。雑誌付録の、DVD-ROMには2種類のものが入っていて、Turbolinux Client 2008はうまくインストールできたが、Turbolinux FUJIはうまくインストールできなかった。

Webブラウザに、Firefoxと違う「WebNavi」を用いていて、使用に違和感があった。

<http://machizukan.net/DK/>

Turbolinux Client 2008

動作は良いのだが、毎回パスワードの入力を求められる。

アプリケーション



アプリケーション:

雑誌: Linux100% Vol 5(付録DVD)

発行所: 晋遊舎(しんゆうしゃ)

定価: ¥1,380

<http://machizukan.net/DK/>

インストール

DVDから起動する。起動:3分22秒。停止:42秒。



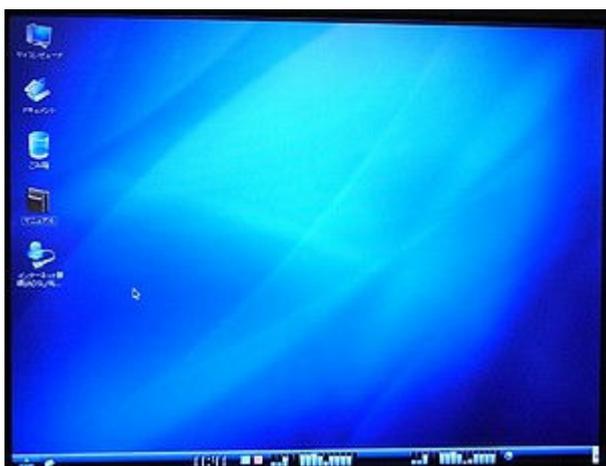
起動したら、アイコンの「ハードドライブにインストール」をクリック。

使用許諾契約書に同意して、キーボードを選択、rootのパスワードを入力。そのほかを設定。インストールは30分位で完了します。

起動は??



再起動して最初の画面です。そのまま待ちます。パスワードを入力します。



周辺を点検します。その後、画面が出ます。

<http://machizukan.net/DK/>

ネットに接続を設定する



インターネット接続のアイコンをクリックします。
左上のRP-PPPoEという画面が出ます。プロパティをクリックし、右の画面を出し、接続名、ユーザー名、ネットワーク名、パスワードを設定します。OKを押し左上の画面の接続をクリックするとネットにつながります。

ブラウザは



「WebNavi」という独自のブラウザです。

パソコンの停止は、



停止は、前述のインターネットへの接続を「切断」し、メインメニューバーから「セッションを終了」、「コンピュータを停止」をクリックします。電源も切れます。

起動: 1分50秒、停止: 24秒

ファイルバイト数: 3GB

<http://machizukan.net/DK/>

Turbolinux FUJI

動かしてみただけです。インストール失敗。

アプリケーション



アプリケーション(左):

雑誌: Linux100% Vol 5(付録DVD)

発行所: 晋遊舎(しにゅうしゃ)

定価: ¥1,380

画面見本



DVD-ROMから起動。

軽そうなのでインストールしようと試みたが、うまく起動しなかった。左: 起動画面、右: デスクトップ画面。

<http://machizukan.net/DK/>

Ubuntu(ウブントウ) Linux を考察

Linux関連の雑誌を幾つか購入したら、この「ubuntu」の特集が多かった。多くの人に使われているのか、普及させようとしているのかは不明だが、使う易いです。

前半:ubuntu8. 04、後半:ubuntu8. 10。追加、ノートパソコンにインストール。

<http://machizukan.net/DK/>

ubuntu8. 04

最初、雑誌付録の「ubuntu8. 04」をインストール

アプリケーション



アプリケーション:

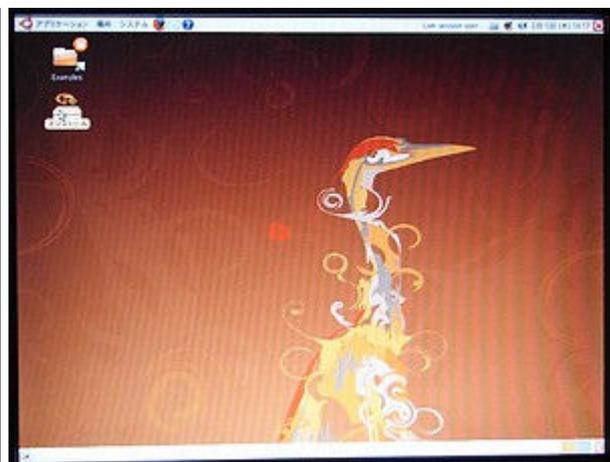
雑誌: LinuxFanVol. 13

付録: CD-ROMx2

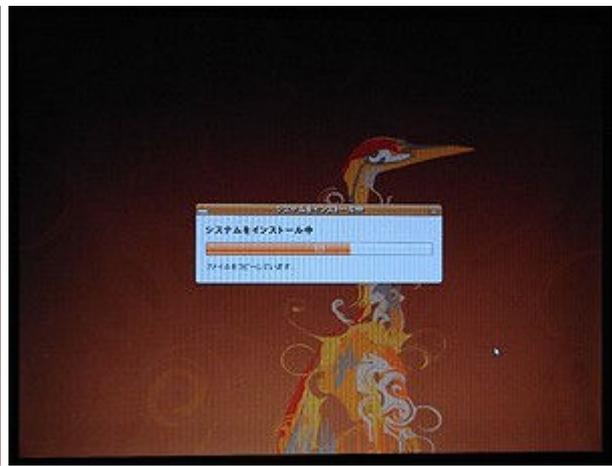
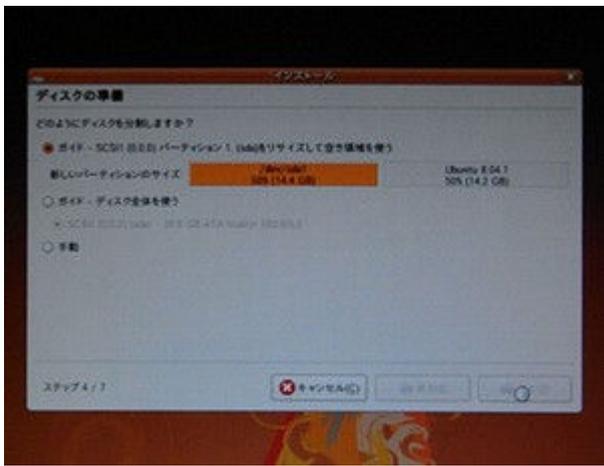
発行所: 毎日コミュニケーションズ

定価: ¥1,490

インストール

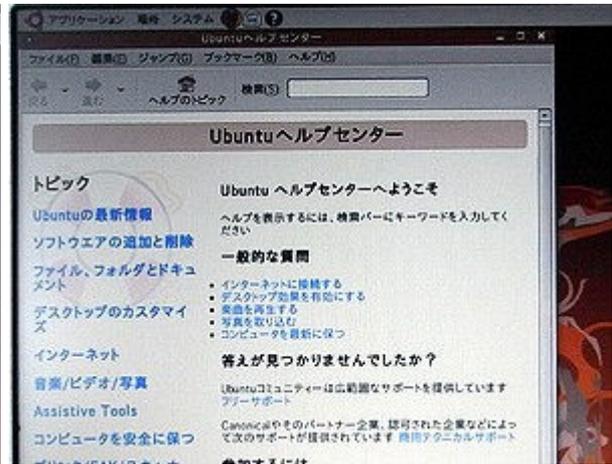


CD-ROMからの起動は、3分を要して、右のデスクトップ画面になります。インストールアイコンをクリックします。

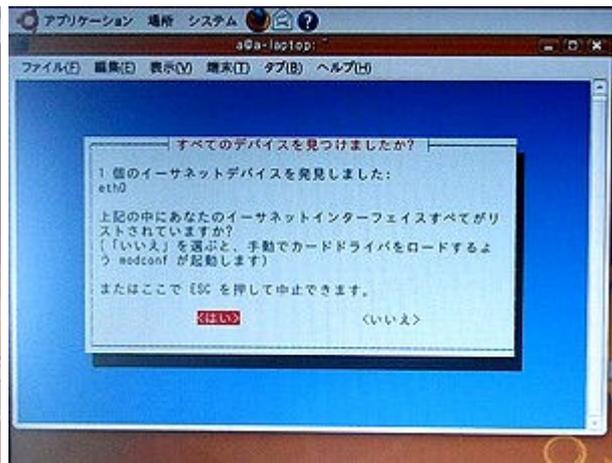
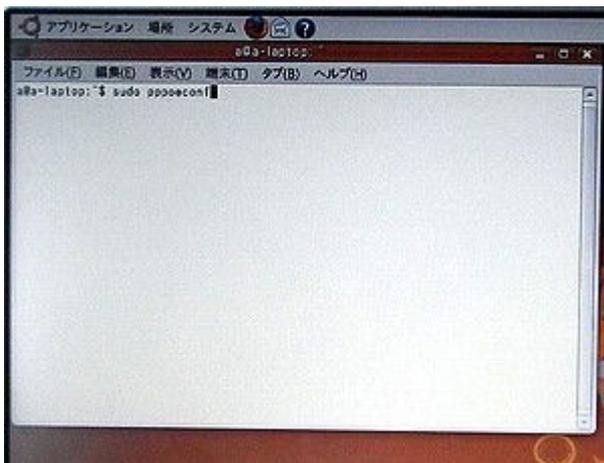


パスワードの設定や、質問項目に入力し、よくわからないパーティションは、スワップ領域を1GBくらい作り、残り全部をLinux用に指定、だめなら再度行うことにした。画面の指示に従って「次へ」をクリックすると30分くらいで終了です。HDD3 0GB、1ドライブです。HDD使用バイト数:4GB(システム・モニタの表示)
 起動:1分30秒、停止:15秒。電源も切れます。

インターネットへ接続



インターネットへの接続は、「システム」、「ヘルプとサポート」を開くと設定の方法が記してあります。



または、「アプリケーション」、「アクセサリ」、「端末」を開き、左の画像で `sudo pppoeconf` とキーボードから入れます。「Enter」で、パスワードの入力をする、右の画面になり、イーサネットを調べ、ユーザ名を入力、パスワードの入力を入れれば、ネットへの接続できます。1度でつながることはありませんので、再起動を繰り返して何回か試行錯誤します。

<http://machizukan.net/DK/>

ブラウザは



標準のブラウザ「Firefox」を起動しubuntuの頁を見ると今はバージョン8.10です。早速、ダウンロードです。

パソコンの停止は、



停止は、画面上部の右端の赤枠をクリックし、シャットダウンをクリックします。

起動: 1分30秒、停止: 15秒、電源が切れます。

<http://machizukan.net/DK/>

ubuntu8.10

ダウンロードしたファイルをubuntuのCD-R書き込みソフトで、CD-Rに書き込み、パソコンを起動し、インストールします。

ファイル名: ubuntu-ja-8.10-desktop-i386.iso

インストール



なんだかすごい画面ですが、ヤギだそうです。パスワード入力なしで起動するように設定。あと、あちこち設定。「端末」を開き、インターネット接続を設定して完了です。

<http://www.kyushu-u.ac.jp/~dk/>

ノートパソコンにubuntu8.04をインストール

ノートパソコンでも動くかと考察

使ったノートパソコン



1. DELL:Latitude C400
2. CPU:ペンⅢ-M 1.2Ghz
3. メモリー:512MB(空きスロット1)
4. HDD:60GB
5. サイズ:B5ファイルサイズ
6. OS:win_XP(CD 付属)
7. 本体重量:1.7KG
8. 付属品:外付け・FDD、CDドライブ、ACアダプター

インストール

面白い現象や、困った問題などを列挙します。HDDフォーマットFAT32。

HDDを20GBに変更

HDDを手持ちの20GBのものに入れ替えて実験。4200rpm、2MB。

ubuntu8.04のみをインストール

起動に3分を要し、パソコンが動いているのか気になる時間です。その間、画面には何も表示がありません。終了は30秒。ファイルバイト数4.1GB。
少し手直しをしても、起動2分50秒です。

ubuntu8.04のみを再インストール

同じようなデータで間違いではなかったようです。

ubuntu8.10のみをインストール

現在の最新はバージョン8.10なので、これを実験。
動作しなかったため、CD-ROM交換、別のCD-Rを作成して試行錯誤するも動作せず。随分時間を要してあきらめました。

Win-XPと両立

調べてみたら、Win-XPから起動するとOSとして2個インストールでき、パソコン起動時に選択可能を調べ考察。

最初にWin-XPをインストール、アプリケーションをインストール。デスクトップ画面から、CD-Rを起動してインストールを実行。

起動:2分15秒、終了:18秒となった。ファイルバイト数全部で9.15GB。

ubuntu単体のインストールより起動が早いのが不思議です。

Win-XPと両立を再考察

デスクトップ画面から、CD-Rを起動してインストールを実行するときにインストールサイズの指定があることに気づき、標準の8GBではなく4GBを指定してみることに。Win-XPのファイルの追加と削除からub

untuを削除、インストールを実行。その結果、なんと起動は2分を切りました。
しかし、ファイルバイト数が少しおかしい。また削除して再々インストールをすると 500MBずつ増えている。
ごみが増えるのかな。探してみたが原因は不明。

Win-XPと両立を再々考察

ゼロから実行、Fdisk、フォーマット、Win-XPインストール、アプリケーションインストール、ubuntu8.04を最小の4GBでインストール。

ubuntuパスワード入力なしで起動するように設定。あちこち手直し。

起動: 1分57秒、ファイルバイト数: 7.35GB、となった。

HDDを60GBに戻す。

元の60GBのHDDに戻してインストール。5400rpm、8MB。

そのままインストール

Win-XPを起動してubuntuをインストール。指定の容量8GBで実行。起動: 1分50秒、停止: 18秒、ファイルバイト数: 15.1GB。Win-XPを良く調べたら不要なアプリケーションがあったので、再考察。

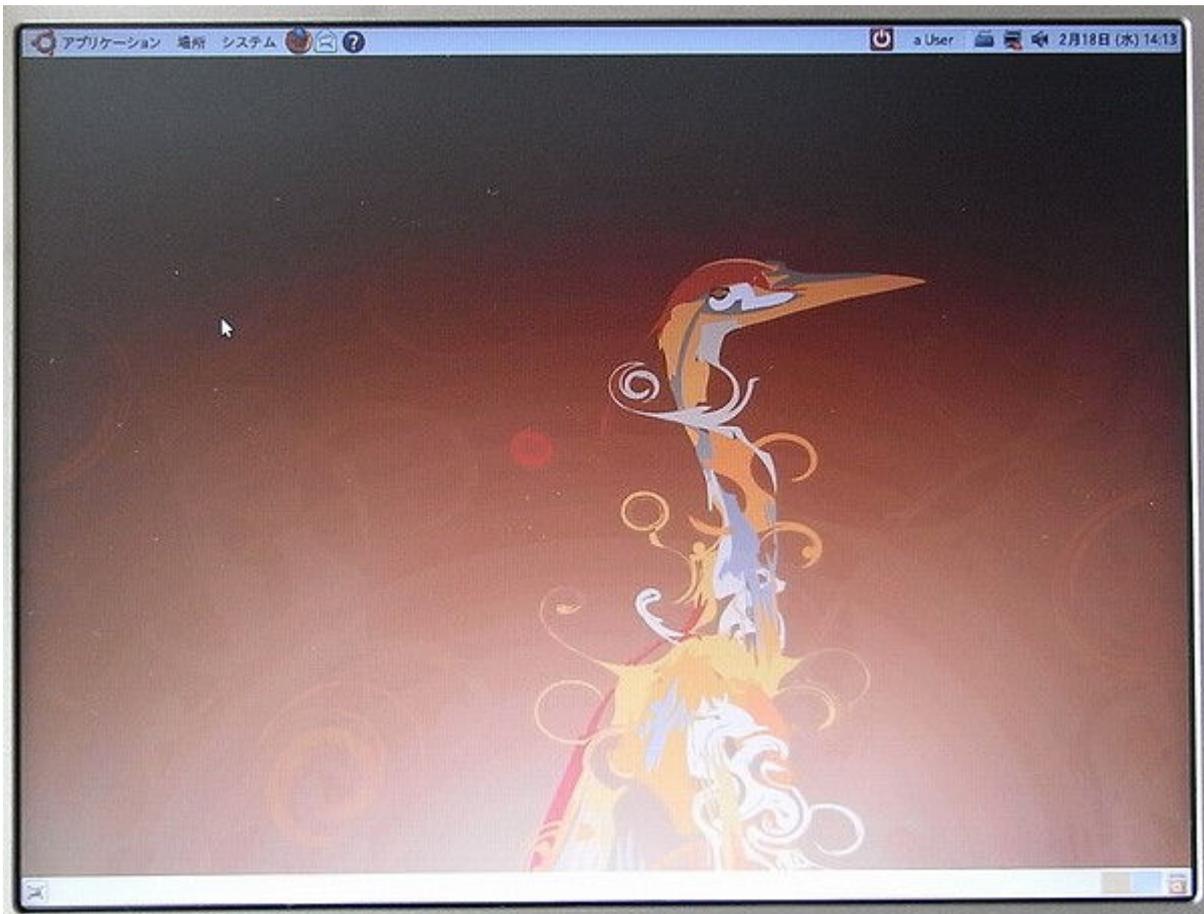
ゼロから実行

データは、Dドライブにあるので、Cドライブのみをフォーマット。Win-XPインストール、アプリケーションインストール。ディスクデフラグ実行。

その後、ubuntuを最小の4GBでインストール。あちこち手直し。

起動: 1分35秒、停止: 15秒、ファイルバイト数: 7.61GB。

ちなみに、Win-XPは、起動: 28秒、停止: 10秒でした。完成です。



ubuntu8.04のデスクトップ画面、鶴らしい！！

<http://machizukan.net/DK/>

Fedora Linux を考察

fedora6があったので、動かしてみた。結果は散々だった。パソコンが少し古いので、速度が遅いです。

<http://machizukan.net/DK/>

fedora 6

バージョンが違うかと2個動かしてみたが、同じバージョンだったが、デスクトップ画面が違っていた。

アプリケーション



アプリケーション(左):

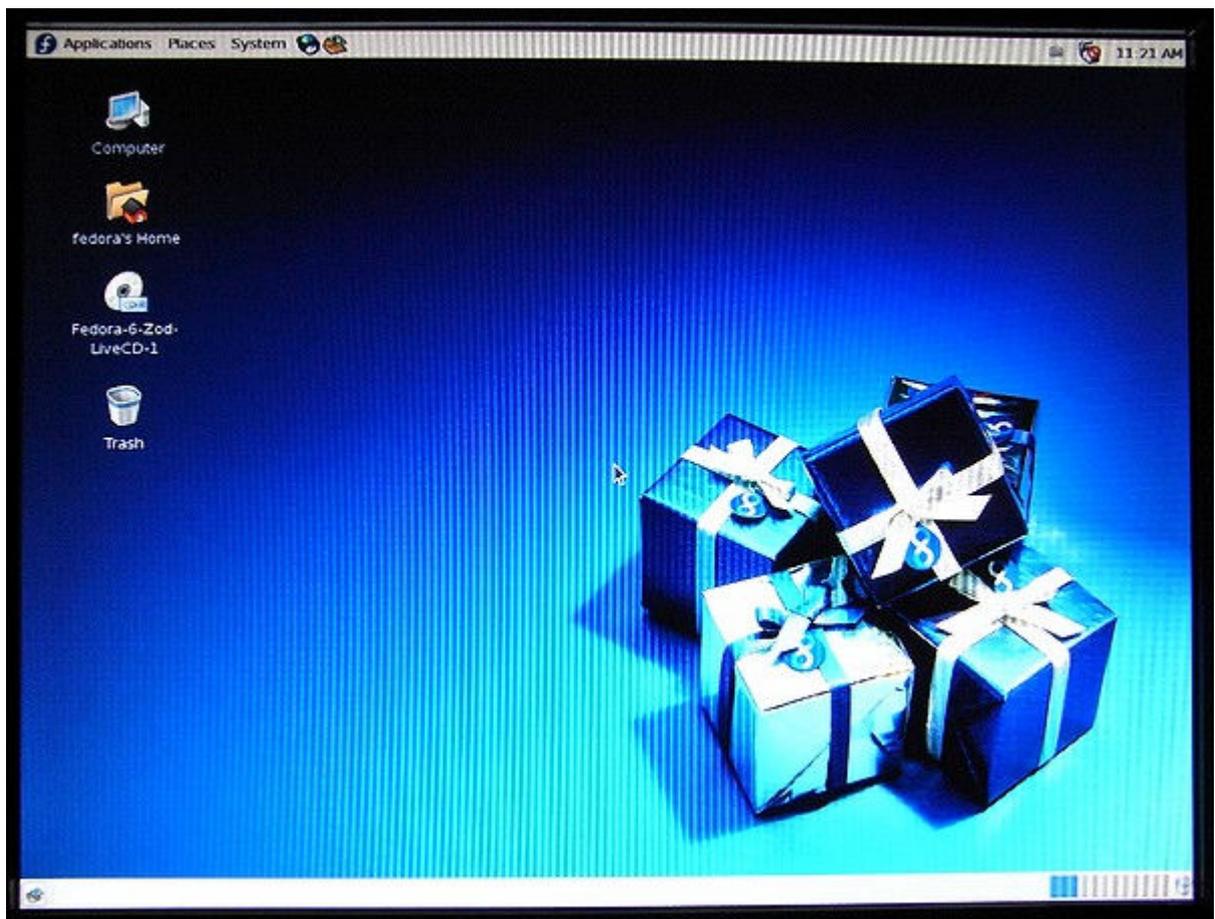
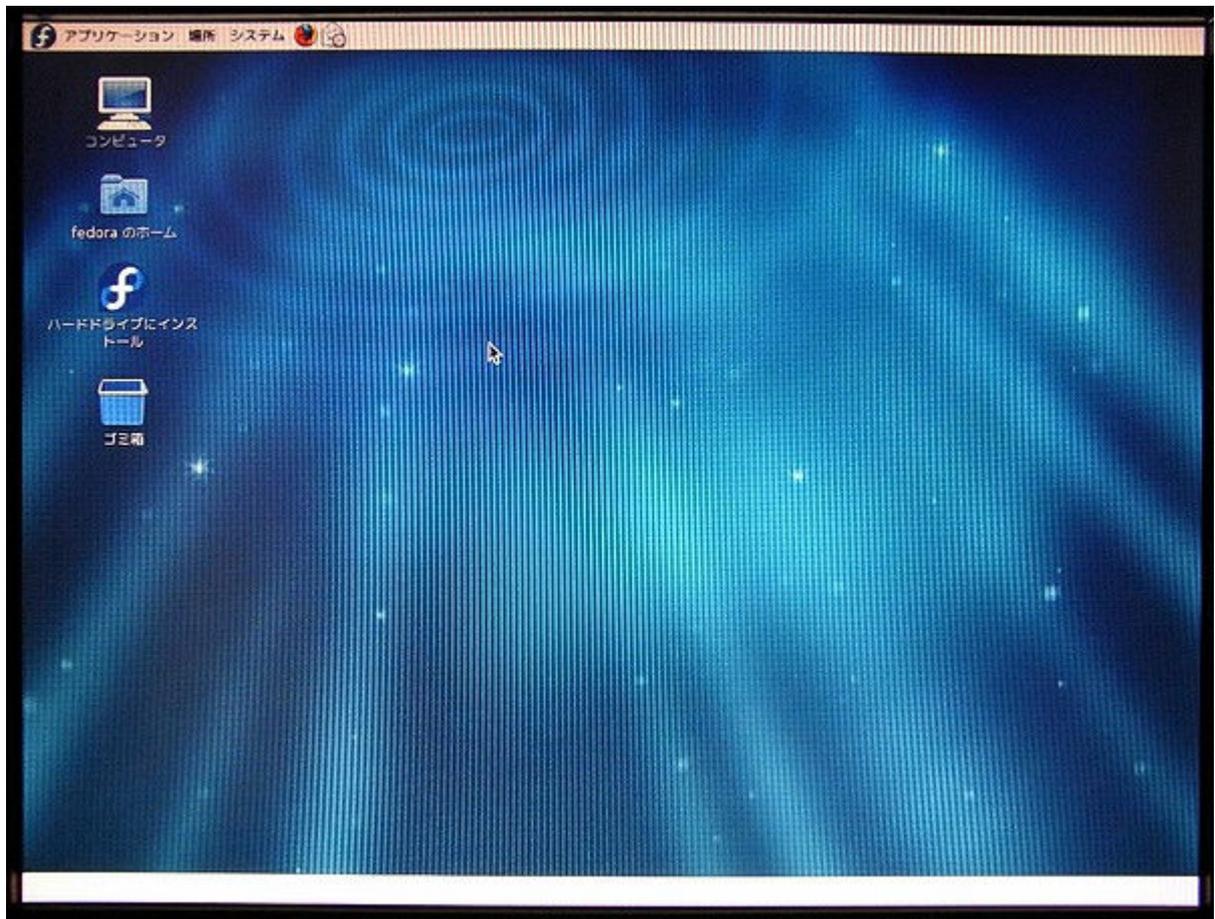
雑誌:Linux FAN Vol 13
付録:CD-ROM、下段を使用
発行所:毎日コミュニケーションズ
定価:¥1,419+税

アプリケーション(右):

雑誌:日経Linux 2007年3月号
CD-ROM:isoファイルを書き込む
発行所:日経BP出版センター
定価:¥1,490

インストール

CD-ROMからの起動は10分を要し、ERROR続出の画面だった。最新の機種を使う必要があるようです。上記のCD-ROM共にfedora6で、同じような症状だった。デスクトップ画面のみを紹介。



<http://machizukan.net/DK/>

Knoppix を考察

独立行政法人産業技術総合研究所が主体となって普及に努めているKnoppixは、Win-XPとOSを2個入れるように考えているようで、単独ではインストールが難しいです。
また、非常に重く、起動5分なんて記事もあります。内容も盛り沢山で、科学計算用のアプリケーションが多く詰め込まれています。

<http://machizukan.net/DK/>

knoppix 3. 6

少し古い手元の雑誌付録の「knoppix3. 6」をインストール

アプリケーション



アプリケーション:

雑誌: PC Japan 2004 11月号

付録: CD-ROMx1

発行所: ソフトバンク

定価: ¥880

白いCD-Rは、雑誌Linux100%付属のDVDより取り出しCD-Rに書き込んだ、5. 3. 1。デスクトップ画面のみ下段に紹介。

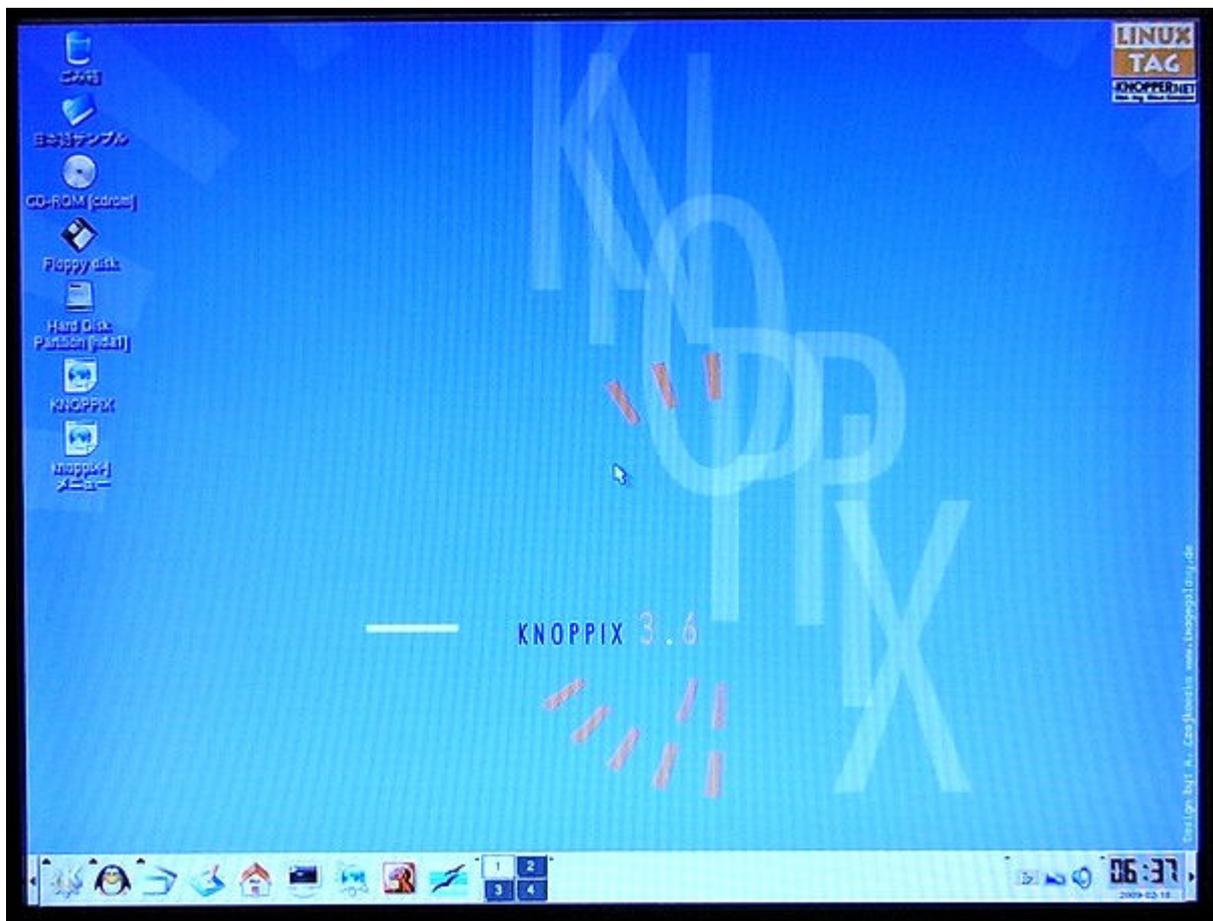
インストール

Win-XPのデスクトップ画面からCD-ROMを開き、install2win.bat をクリックするとインストールが始まります。Cドライブに¥knoppixというフォルダーをつくり、CD-Rの内容を丸ごとコピーします。パソコンの起動画面のOSの選択画面でknoppixを選ぶと、コピーした内容を展開しながら起動します。

起動: 2分40秒、停止: 45秒でした。ファイルバイト数は630MB増えています。

起動画面とアプリケーションの多さ

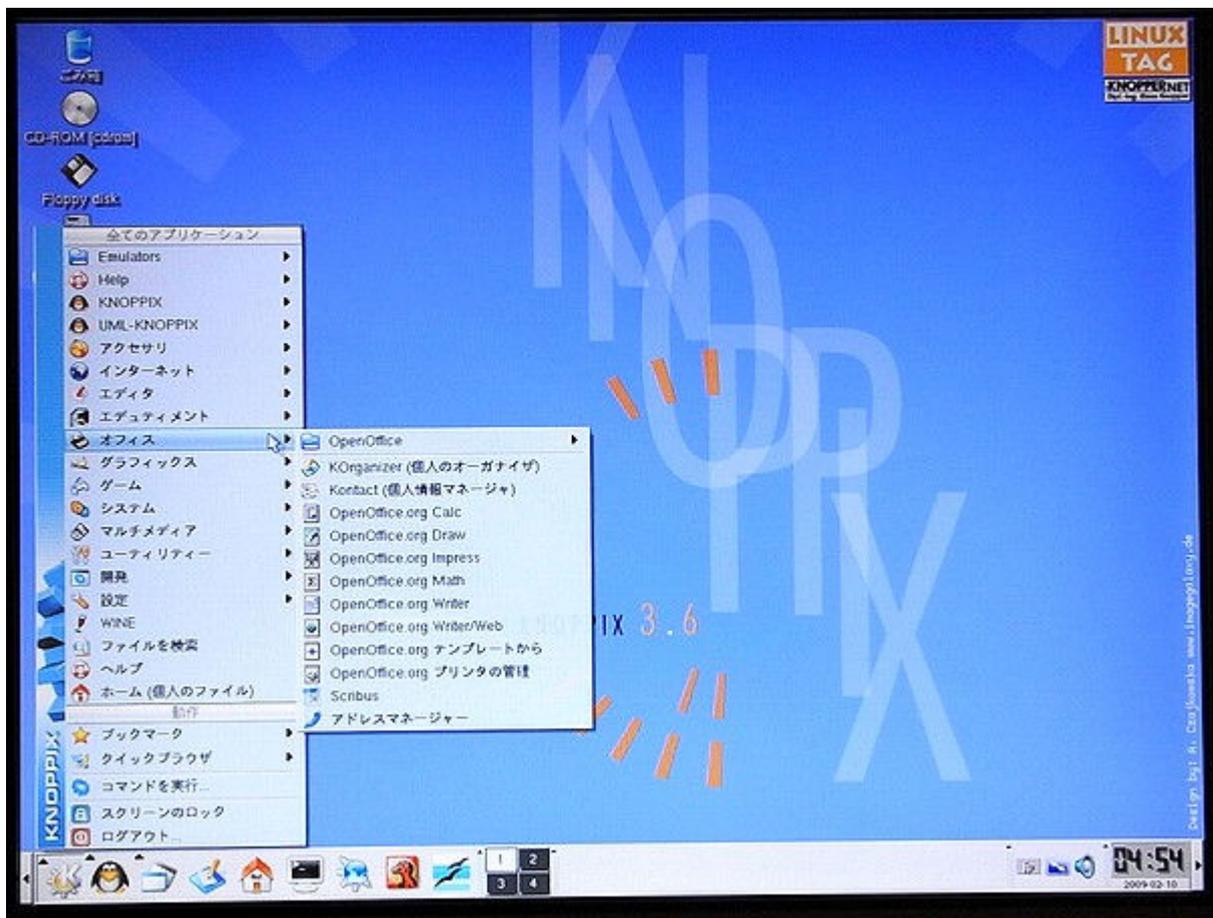
以下に起動画面とアプリケーションの選択画面を並べました。ネットに接続するには 端末で RP-PPPoE と打ち込みか、項目インターネットから設定すれば使えます。



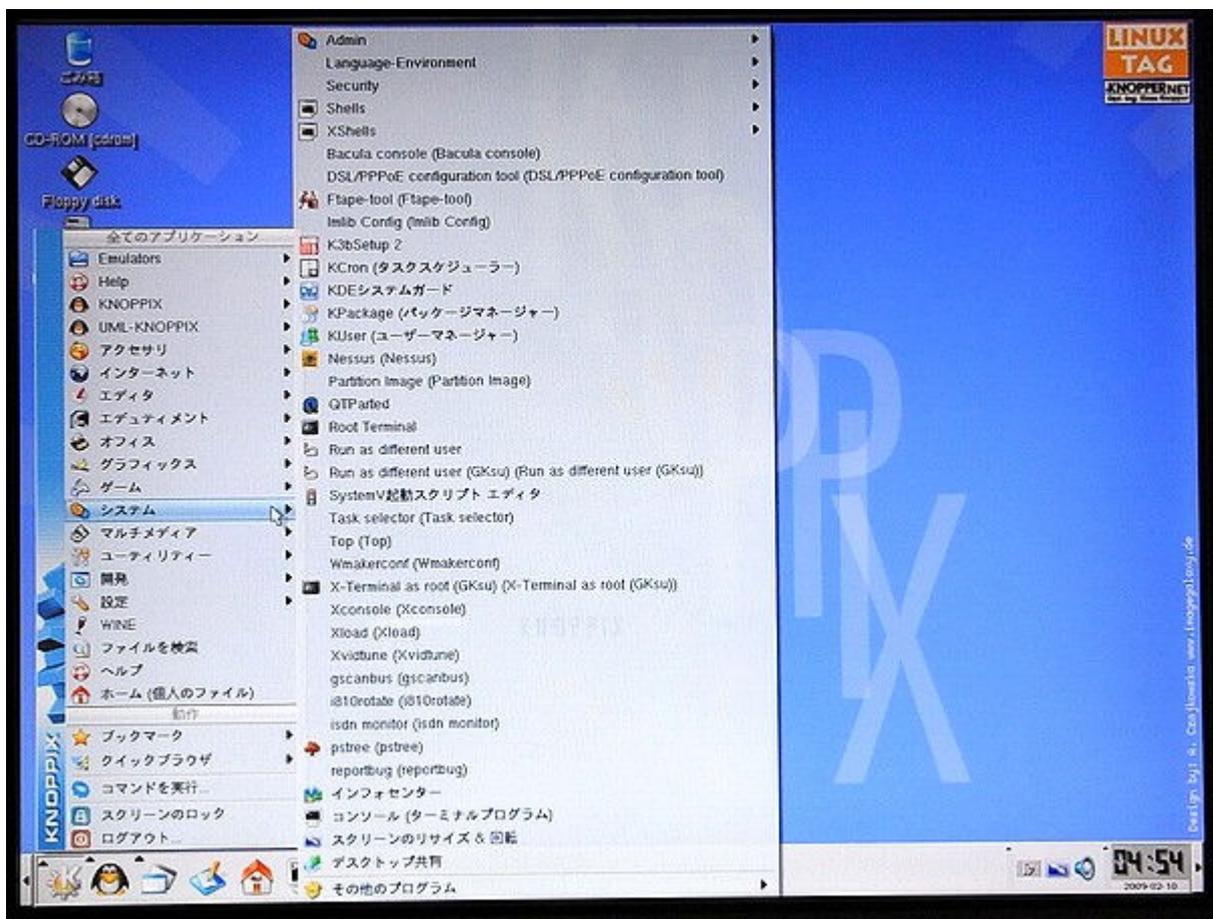
起動デスクトップ画面



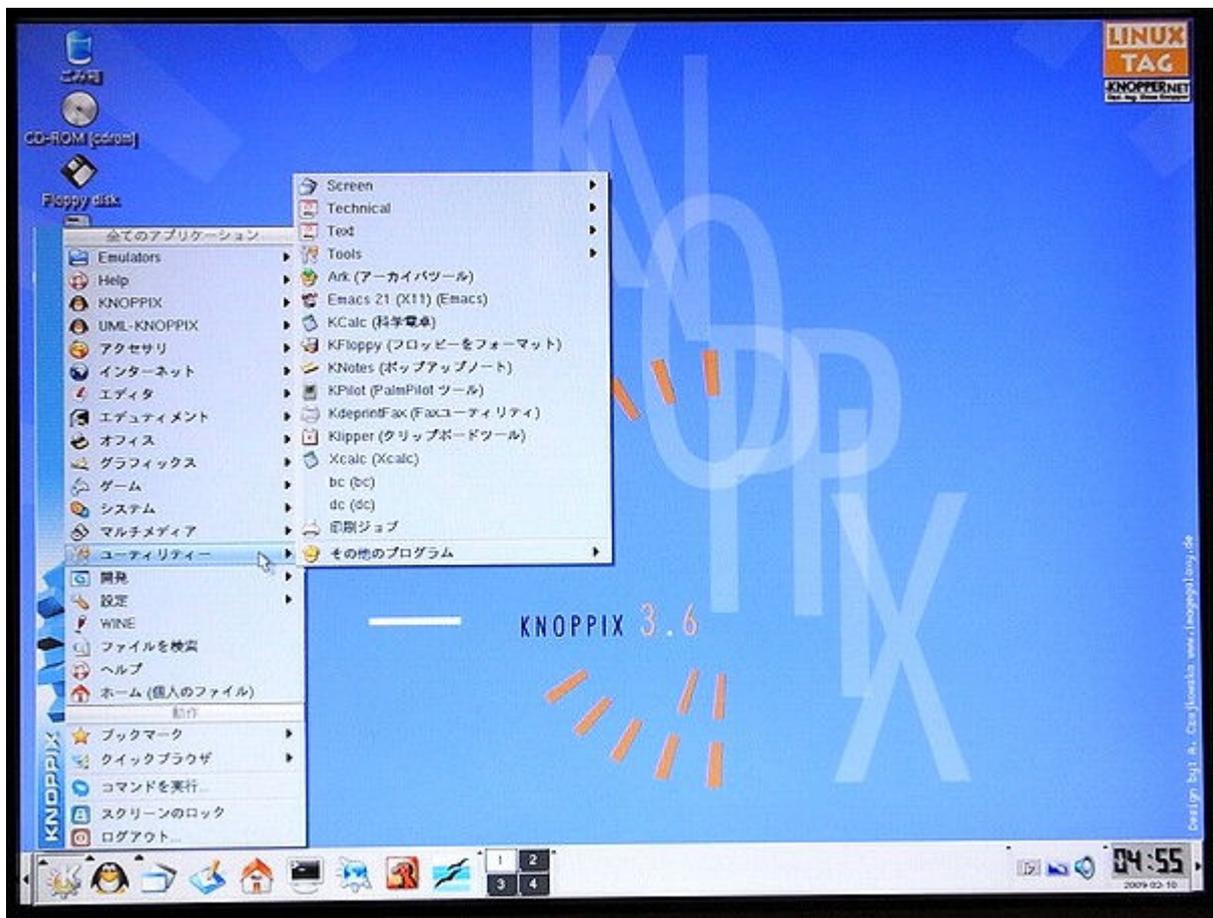
項目インターネット画面



項目オフィス画面

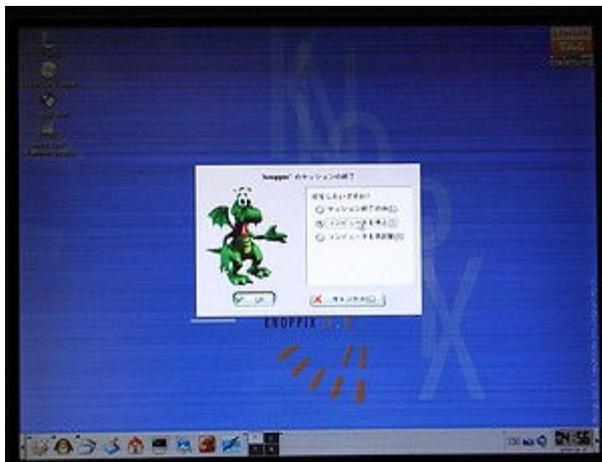


項目システム画面



項目ユーティリティー画面

パソコンの停止は、



停止は、画面下部の左端のK枠をクリックし、コンピューターを停止をクリックします。

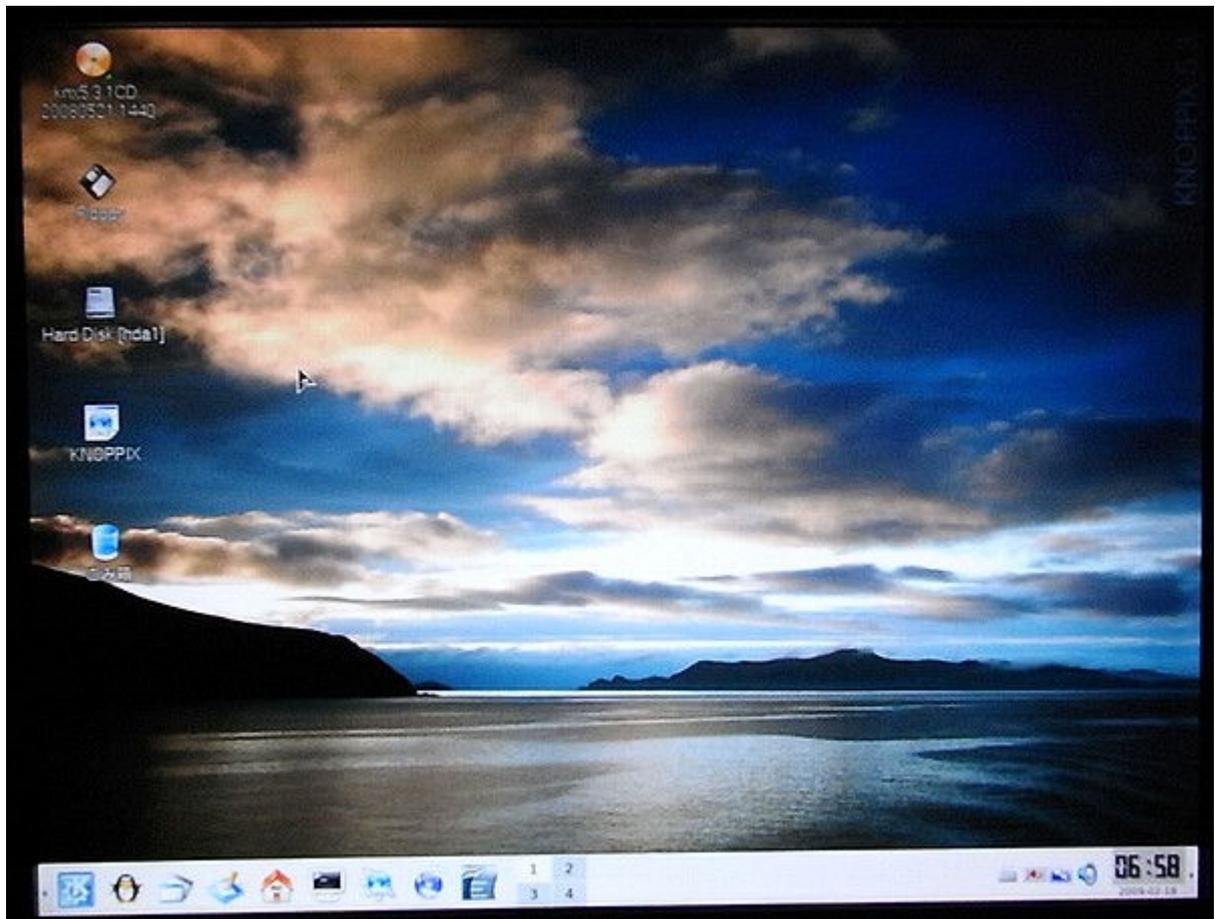
起動：2分40秒、停止：45秒で電源が切れます。

<http://machizukan.net/DK/>

knoppix 5. 3. 1

最新版のバージョンは、5. 3. 1です。デスクトップ画面のみ以下に紹介。アプリケーションの項目は、3. 6とあまり変わりません。

ファイル名 : knoppix_v5.3.1CD_20080326-20080520-AC.iso



デスクトップ画面

<http://machizukan.net/DK/>

puppy など 1CD Linux の紹介

この頁は、1CD Linux などと呼ばれている、インストールなしでCD-Rから起動できる軽量Linuxの紹介です。インターネットでダウンロードしたisoファイルをCD-Rに書き込み 動かしています。CD-Rの作成には別の書き込みソフトが必要です。

<http://machizukan.net/DK/>

動作を確認したアプリケーション

puppy-4.00.4-JP.iso
puppy-4.1.2-JP.iso
dsl-4.4-0617-jp.iso
ecolinux-light-8.04.7.iso
gos-3.0-gadgets-20080925.iso
slax-ja-6.0.7-2008111901.iso

上記のファイルのあるところ：<http://2.csx.jp/livecdroom/>

<http://machizukan.net/DK/>

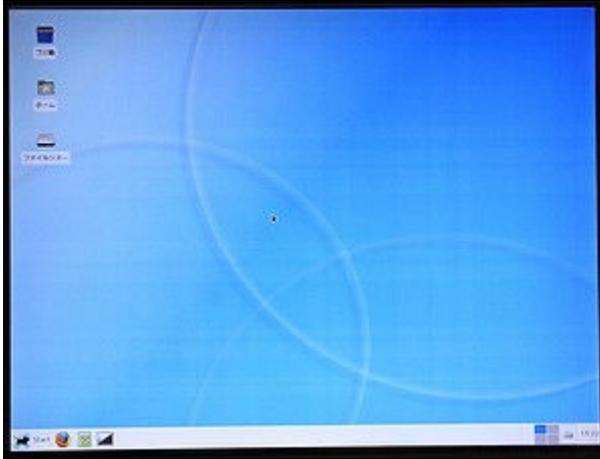
デスクトップ画面と簡単な説明



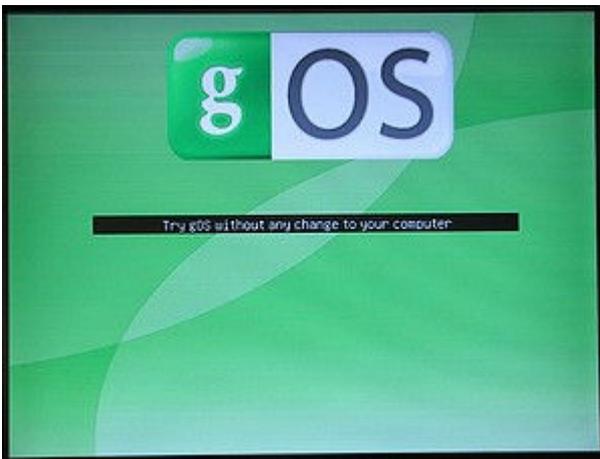
パピー、左:puppy-4.00.4、右:puppy-4.1.2
軽快に動くので、インストールを試みるが起動しなかった。



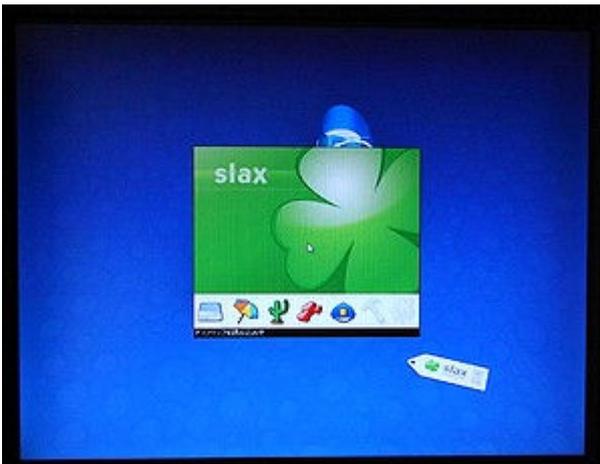
ダムスモール:Damm Small Linux、左:初期画面、右:デスクトップ画面
軽いのでインストールしてみた。動作は良かったが、メモ帳もどきで日本語が入らなかった。



エコ:Ecolinux、ubuntuがベースになっているので、軽快には動作しなかった。



ジーオーイス:gOS、左:起動中、右:デスクトップ画面
1CDから起動し、データをネットに保存可能な面白い発想のもの。



スラックス:slax、左:起動中、右:デスクトップ画面
軽量の代表みたいなもの。

<http://machizukan.net/DK/>

1CD Linux を考察

インストールしなくてもCD-ROMから起動するものが、1CD Linuxと呼ばれています。しかし、ダウンロードした600MBを超えるファイルも結局はCD-Rに書き込まないとインストールが出来ません。書き込みソフトの紹介と画面をお見せいたします。

<http://machizukan.net/DK/>

Win-XP用の書き込みソフト

アプリケーション



アプリケーション:

雑誌: Linux100% Vol 5(付録DVD)

発行所: 晋遊舎(しんゆうしゃ)

定価: ¥1,380

書籍付録のDVDから、書き込みソフト

「ImgBurn」

を取り出し、Win-XP機にインストールする。

ファイル名: SetupImgBurn_2.4.2.0.exe

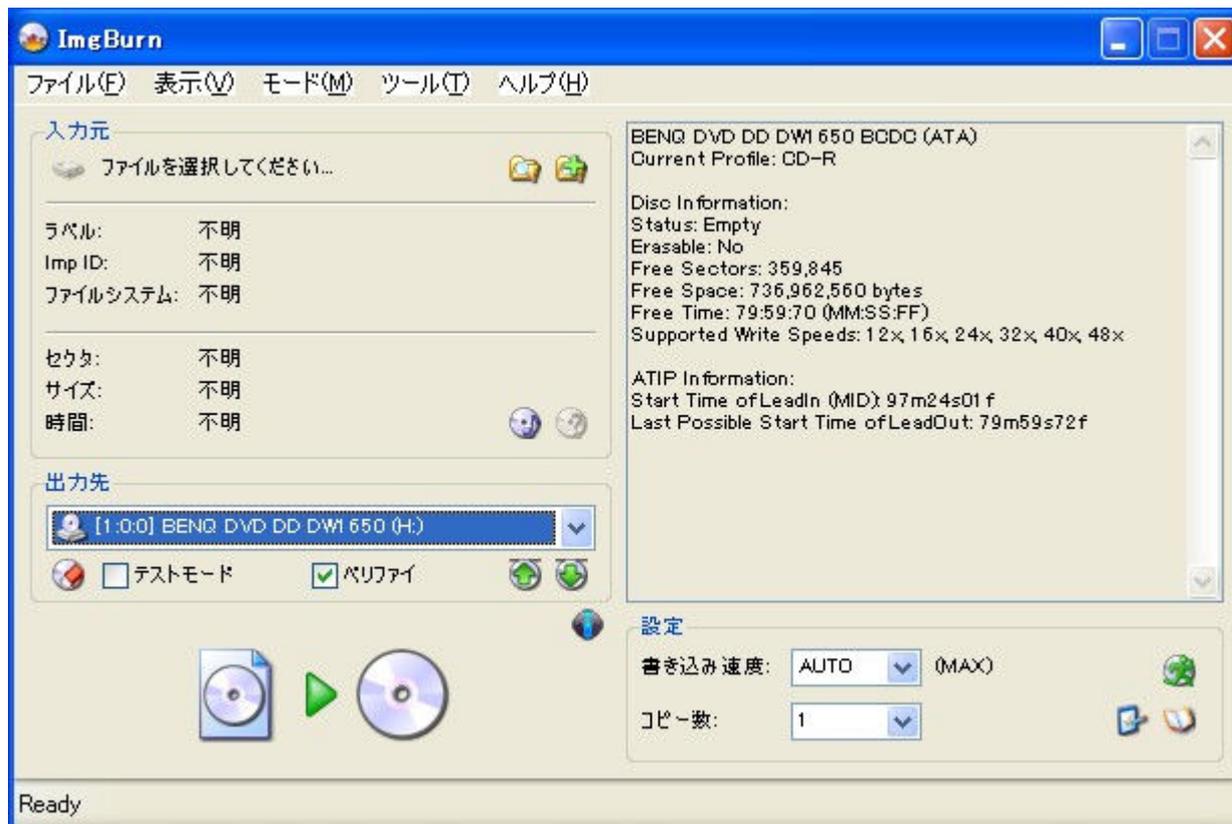
<http://machizukan.net/DK/>

使用方法

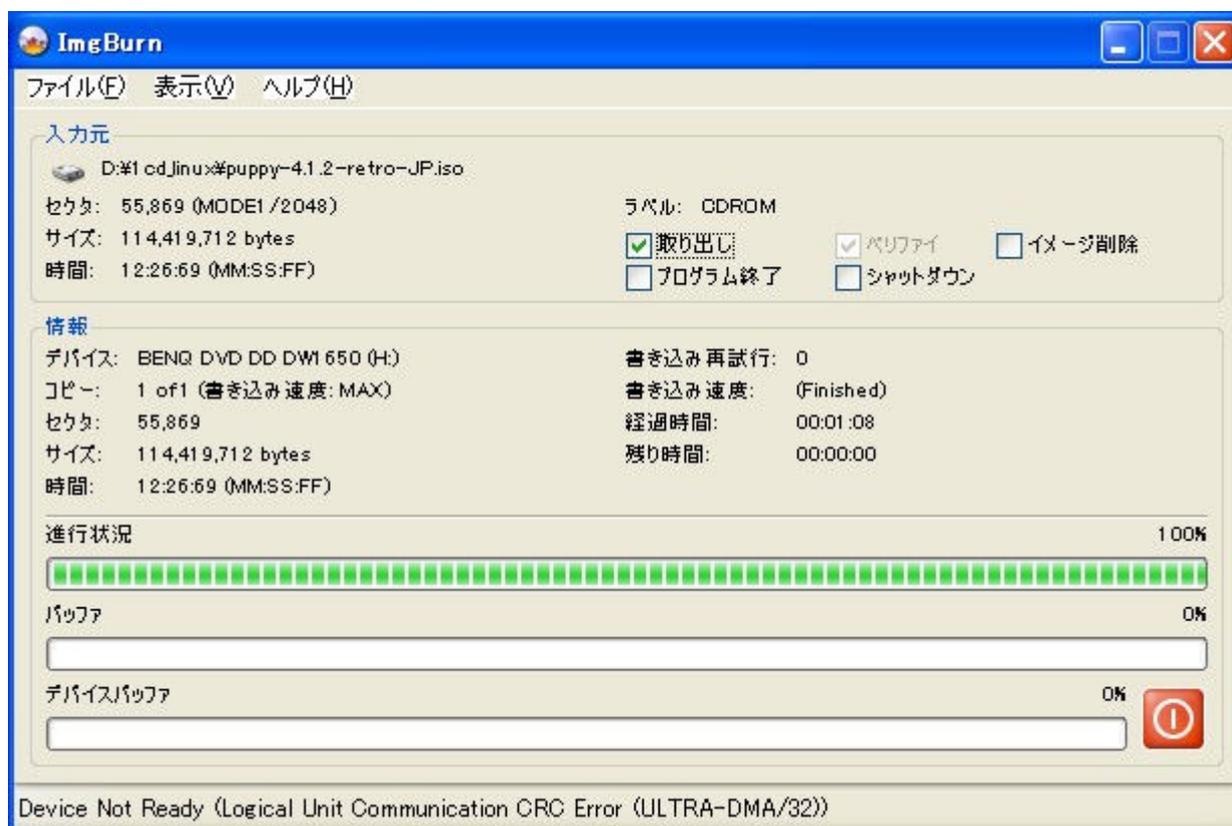
同梱のZipファイルを解凍し、ファイルをインストールしたフォルダー「Languages」フォルダーに日本語化ファイルをコピーします。「ImgBurn」を起動、「Tools」、「Setting」、「General」タブから日本語に設定変更します。



起動すると、上の画面になります。左上の「イメージをディスクに書き込み」を選んでクリックすると次の画面になります。



左上の「入力元」の欄の右端から2番目をクリックしてisoファルを読み込み、CDドライブにCD-Rが挿入されると下段の書き込み画像を押せば書き込みます。

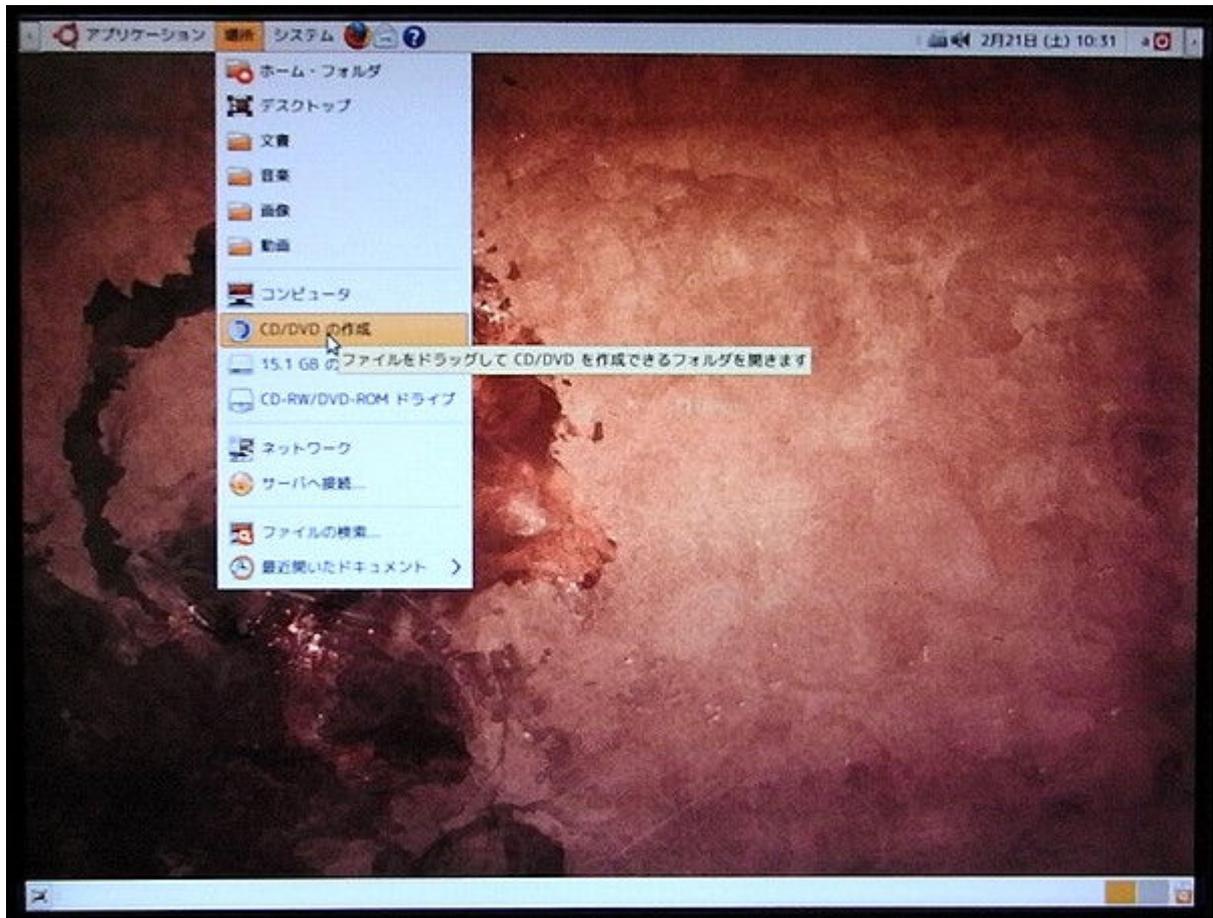


書き込みが終了すると、1度CD-Rがドライブから吐き出され、また自動で引き込まれ、今度はベリファイが始まります。最後に完成したCD-Rが吐き出されます。1度目で取り出さないようにしましょう。

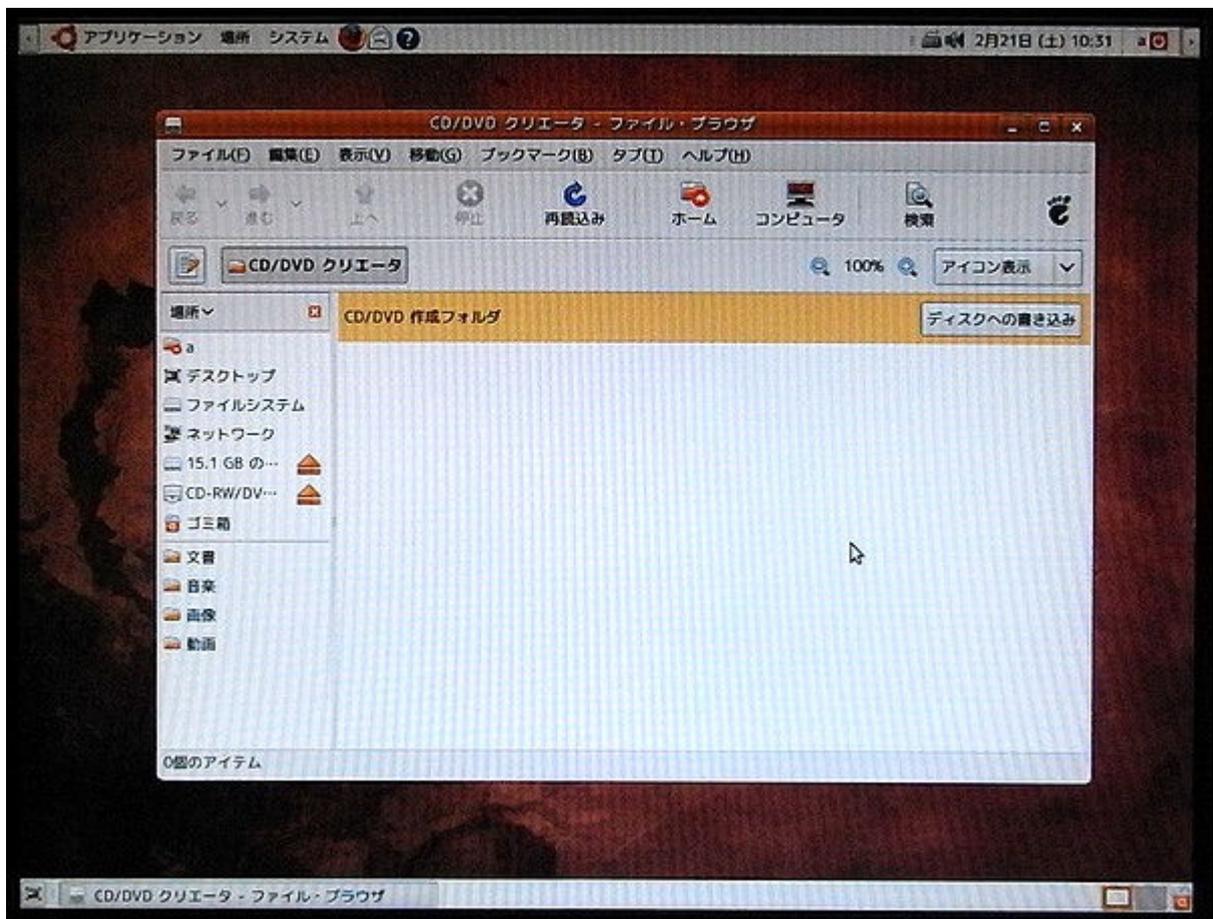
Linux用のアプリケーション

ubuntu Linuxには標準で書き込みソフトが付属しています。しかし、これを使うには、ubuntuをインストールしなくては、インストールするには1CDを先に作らねばと、ぐるぐる回りです。

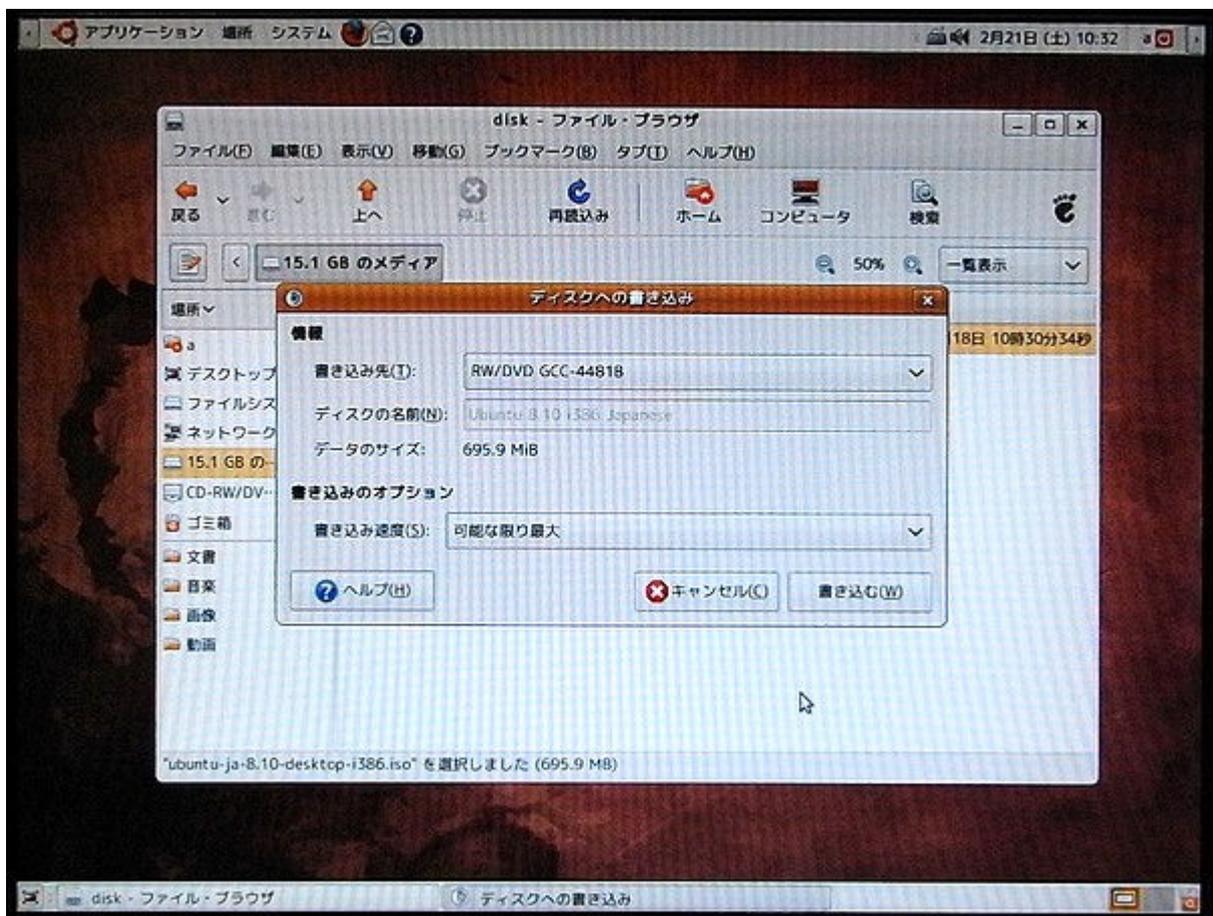
使用方法



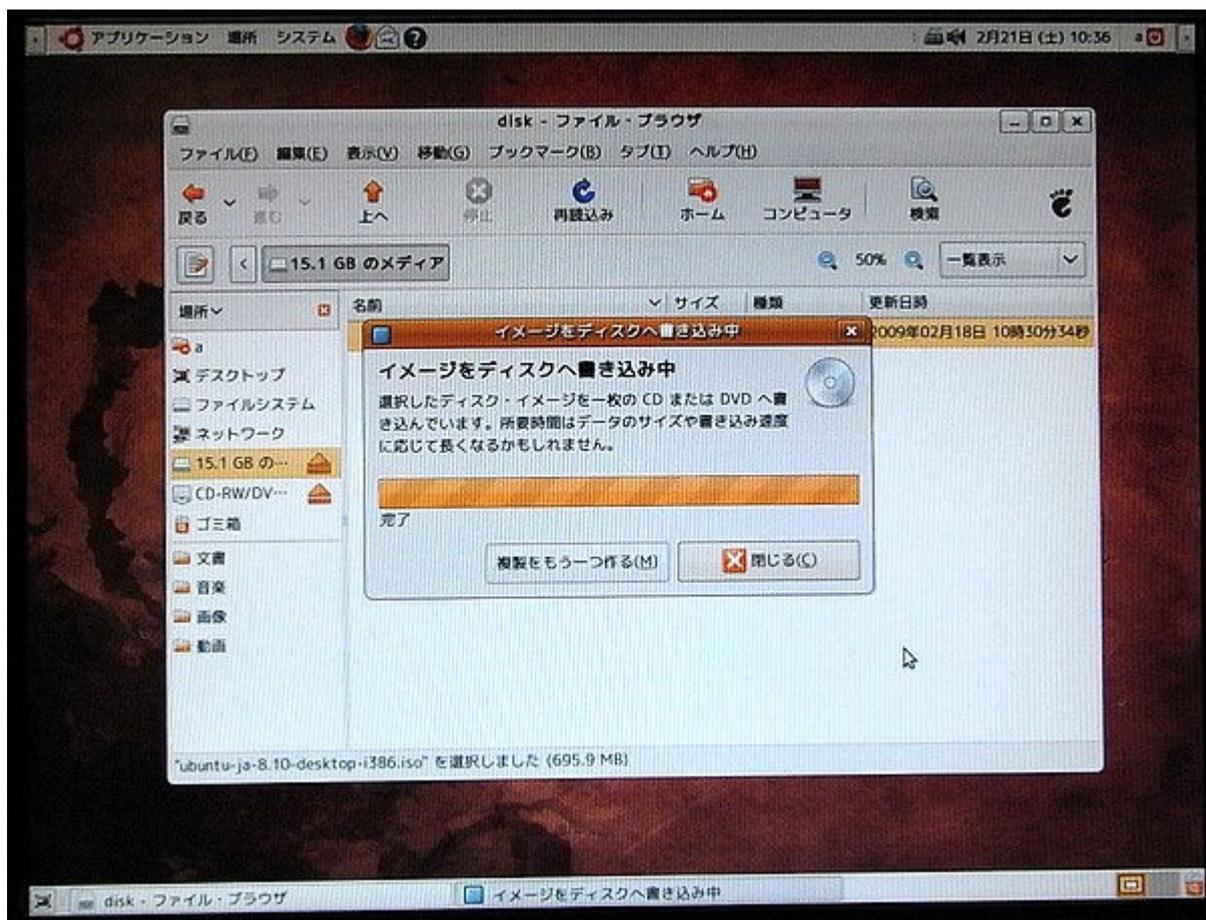
「場所」、「CD/DVDの作成」をクリック。



「CD/DVD クリエータ」画面になります。書き込むファイルを指定します。
この画面では、「15.1 GBの・・・」のドライブをマウントします。このドライブはWin-XPではDドライブのような起動ドライブとは別のドライブです。そのドライブの中のファイルを指定すると次の画面になります。



「書き込む」をクリックすると、書き込みが始まり、終了するとCD-Rが吐き出されます。直ぐに取り出さないと次の画面になります。ペリファイはありません。



「閉じる」をクリックして、CD-Rを取り出し完成です。

<http://machizukan.net/DK/>